

地球電磁気・地球惑星圏学会

Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences
(SGEPSS)

第146回総会・講演会プログラム

開催期間 2019年10月23日(水)～10月27日(日)

開催場所 熊本市国際交流会館(〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-18)

後援 熊本大学理学部

総会・特別講演・田中館賞受賞講演

日時 10月25日(金) 13:45 – 18:40

場所 熊本市国際交流会館 6F ホール

講演会

日時 10月23日(水)～10月26日(土)

場所 熊本市国際交流会館 4F、6F(受付:6Fホール前)

6Fホール、4F第3会議室、4F第1会議室、4F第2会議室、6Fロビー

一般公開イベント

日時 10月27日(日) 10:00 – 15:00

場所 熊本博物館(〒860-0007 熊本市中央区古京町3-2)

共催 熊本博物館

(標準的な時間割当)

		9:00 – 10:30		10:45 – 12:30		13:45 – 15:30		15:45 – 17:30			
会場		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
23日(水)	A					R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合		R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合			
	B					R009: 惑星圏・小天体		R009: 惑星圏・小天体			
	P					ポスターセッション1 [R006]					
24日(木)	A	R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合		R006: 磁気圏		R006: 磁気圏		R006: 磁気圏			
	B	R009: 惑星圏・小天体		R009: 惑星圏・小天体		R008: 宇宙プラズマ理論・シミュレーション		R008: 宇宙プラズマ理論・シミュレーション			
	C	R003: 地球・惑星内部電磁気学(電気伝導度、地殻活動電磁気学)		R003: 地球・惑星内部電磁気学(電気伝導度、地殻活動電磁気学)		R004: 地磁気・古地磁気・岩石磁気		R004: 地磁気・古地磁気・岩石磁気			
	P					ポスターセッション2 [R005, R009, R010]					
25日(金)	A	R006: 磁気圏		R006: 磁気圏		特別講演会 (13:45-14:30)		田中館賞講演 (14:30-16:00)		総会 (16:10-18:40)	
	B	R005: 大気圏・電離圏		R005: 大気圏・電離圏							
	P	ポスターセッション3 [R003, R004, R007, R008]									
26日(土)	A	R006: 磁気圏		R006: 磁気圏		R006: 磁気圏					
	B	R005: 大気圏・電離圏		R005: 大気圏・電離圏							
	C	R007: 太陽圏		R007: 太陽圏							
27日(日)	*	一般公開イベント (10:00-15:00)									

講演会場: 熊本市国際交流会館

口頭発表 — A会場: 6F ホール, B会場: 4F 第3会議室, C会場: 4F 第1会議室

ポスター発表 — P会場: 4F 第2会議室、6F ロビー1, 2

特別講演会・総会 — 6F ホール

一般公開イベント — 熊本博物館*

(Standard timing)

		9:00 – 10:30		10:45 – 12:30		13:45 – 15:30		15:45 – 17:30			
Room		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
23 (Wed)	A					R010 : SpaceWeather/Climate		R010 : SpaceWeather/Climate			
	B					R009 : Planets and Small Bodies		R009 : Planets and Small Bodies			
	P					Poster Session 1 [R006]					
24 (Thu)	A	R010 : SpaceWeather/Climate		R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere			
	B	R009 : Planets and Small Bodies		R009 : Planets and Small Bodies		R008 : Space Plasma Theory/Simulation		R008 : Space Plasma Theory/Simulation			
	C	R003 : Solid Earth Electromagnetism		R003 : Solid Earth Electromagnetism		R004 : Geomagnetism/Paleomagnetism/Rock Magnetism		R004 : Geomagnetism/Paleomagnetism/Rock Magnetism			
	P					Poster Session 2 [R005, R009, R010]					
25 (Fri)	A	R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere		Special lecture (13:45-14:30)		Special lecture (14:30-16:00)		Plenary meeting (16:10-18:40)	
	B	R005 : Atmosphere/Ionosphere		R005 : Atmosphere/Ionosphere							
	P	Poster Session 3 [R003, R004, R007, R008]									
26 (Sat)	A	R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere					
	B	R005 : Atmosphere/Ionosphere		R005 : Atmosphere/Ionosphere							
	C	R007 : Heliosphere		R007 : Heliosphere							
27 (Sun)	*	Public Outreach Event (10:00-15:00)									

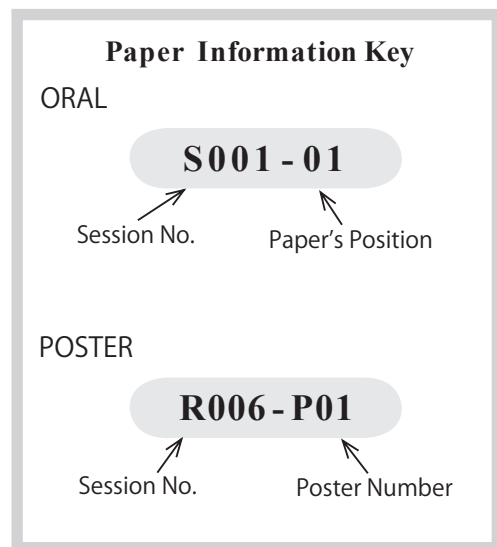
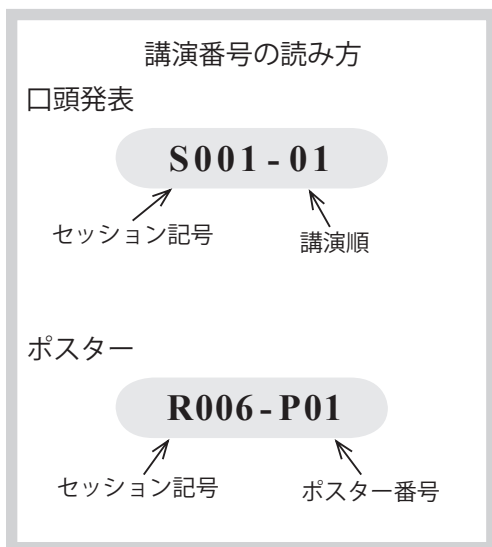
Venue: Kumamoto City International Center

Oral presentations – A: Main Hall (6F), B: Meeting room 3 (4F), C: Meeting room 1 (4F)

Poster presentations – P: Meeting room 2 (4F), Main lobby (6F), and Sub lobby (6F)

Special lectures, Plenary meeting – Main Hall (6F)

Public outreach event – Kumamoto City Museum



学会会長挨拶

大村 善治 (第30期会長)

第146回地球電磁気・地球惑星圏学会の総会および講演会を熊本城の隣にある熊本市国際交流会館で開催できることを大変嬉しく思います。過去72年の本学会の歴史の中において熊本で総会・講演会を開催するのは初めてとなります。大会のお世話をいただいた、渋谷大会委員長をはじめとする熊本大学ならびに京都大学院理学研究科附属地球熱学研究施設の皆様に厚く御礼申し上げます。

2016年4月に発生した熊本地震では2度の震度7を記録し、熊本県では50人の方々が直接死で亡くなり、建造物にも大きな被害がでました。中でも熊本城天守閣の屋根瓦や石垣が崩落した様子が報道された時、地震の被害の大きさを実感させられたことは記憶に新しいところです。現在もまだ熊本城の多くの部分への立ち入りが制限されているようですが、周辺からは修復された天守閣を望むことができ復興の勢いも感じさせてくれます。その活気に溢れた街の中で、最新の研究発表と議論を通じでお互いの交流を深めたいと思います。特に、講演・ポスターセッションは、学生の方々にとっては研究発表の技を競う場にもなっています。この学生発表賞の審査は多くの会員の方々の協力で成り立っています。審査員を引き受けていただいた方々に御礼申し上げると同時に、学生の発表に対して建設的なコメントを出していただければ幸いです。

地震の被害を受けた地域においては、特に地球科学に対する関心も一層高まっていることと推察されます。本学会のアウトリーチイベントを通じて、若い世代に地球電磁気学・地球惑星圏科学に対する興味や将来の研究者となる夢をもってもらえるような魅力ある活動を展開してゆきたいと思います。会員の皆様の御協力をお願いします。

大会委員長挨拶

渋谷 秀敏 (第146回総会・講演会 大会委員長)

地球電磁気・地球惑星圏学会第146回総会および講演会を熊本で開催できますことをうれしく思います。熊本では初めての総会・講演会と言うことで、渡部前会長の「新しい所で開催すると、行こうという気持ちが強くなるのですよ」というお言葉に背中を押されてお引き受けしました。熊本県には正会員4名(熊本大学2名・京都大学火山研究センター2名)という少人数で開催可能か危ぶみましたが、幸い総会・講演会、懇親会、アウトリーチともに、適当な会場が見つかり、開催に向けて準備を進めることができました。熊本での開催は近年の大会開催の主体をLOCから運営委員会へと移していく過程の一環で、地元で必要な会場探しなど以外はほとんど運営委員会をお願いすることになっていて、地方大学の教員数が減少する中、少人数のLOCでも運営可能な学会のモデルケースとのお言葉もいただきました。その分、参加者の皆様にはご不便をおかけすることになるかもしれませんが、ご寛恕のほどをお願いいたします。熊本は知名度の割には規模が大きく魅力的な街になっております。会場は、全国でも一二を争う規模を誇る熊本城がすぐ目の前です。熊本城は、平成28年熊本地震で大きな被害を受けましたが、学会の頃には、天守閣近くに行けるまで復旧の予定です。石垣の崩れたところなど、全体的な復旧はまだですが、それを含めて見ていただければと思います。会場から至近の繁華街は九州でも有数の規模で、こちらはほぼ復旧して毎晩賑やかです。ホテルも多いので、講演会後に有意義な議論を楽しんでいただければと思います。周辺には阿蘇を始めとする観光地や温泉も枚挙にいとまがないほどですので、ぜひお楽しみください。最後に、本総会・講演会の企画運営を支えてくださった方々全員に感謝申し上げます。

運営委員会よりお知らせ

- 総会は10月25日(金) 16:10-18:40に、熊本市国際交流会館6Fホールで開催されますのでご出席願います。やむを得ず欠席される方は委任状をご提出ください。委任状は会場にて委任状用紙に記入いただくか、事前の電子メール(電子委任状)にて受け付け致します。電子委任状のご案内はメーリングリストからご案内します。
- 特別講演・田中館賞記念講演は総会に先立って同日13:45より同ホールで開催いたします。ご参加ください。
- 予稿集は学会ホームページ(<http://www.sgepss.org/>)よりオンラインでご利用いただけるほか、ダウンロードしてお手元に保存することが可能です。

○ 口頭発表

- PCプロジェクターを使用される方は、パソコンを各自でご用意の上、必ず事前の動作確認を行ってください。機種や環境により対応できない場合がありますのでご了解ください。
- OHPの使用には対応しておりません。ご了承ください。

○ ポスター発表

- ポスターセッションは熊本市国際交流会館4F第2会議室及び6Fロビー1, 2にて開催されます。3回に分けて実施され、各日の発表セッション名は下表のとおりです。

ポスターセッションP1	ポスターセッションP2	ポスターセッションP3
10月23日(水)午後 コアタイム：14:00-17:00 (13:00より掲載可)	10月24日(木)午後 コアタイム：14:00-17:00 (09:00より掲載可)	10月25日(金)午前 コアタイム：09:30-12:30 (09:00より掲載可)
R006：磁気圏	R005：大気圏・電離圏 R009：惑星圏・小天体 R010：宇宙天気・宇宙気候	R003：地球・惑星内部電磁気学 R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気 R007：太陽圏 R008：宇宙プラズマ理論・シミュレーション

- ポスターボードの大きさは幅90cm×高さ210cmです。会場スペースの都合上、幅90cm未満でのポスター作成をお願いいたします。(A0ノビサイズはご掲載いただけませんのでご注意ください)
- 緊急のポスター発表を希望される場合は、プログラム担当(fm@sgepss.org)までご相談ください。
- 学生会員が第一著者かつ発表者である全発表(口頭及びポスター発表)の中で、将来性、独創性のある研究に対して学生発表賞(オーロラメダル)が授与されます。ポスター発表中には、審査員が時間割(別途、配布)に従って見て回り、審査します。ポスター発表者は、審査の時間中は審査員を優先して説明してください。
- 委員会等の開催(いずれも会場内)
運営委員会：10月23日(水) 18:00-21:00
評議員会：10月24日(木) 18:00-21:00
他の会合については、学会ホームページ並びに会場内にてご案内致します。
- 会場総合受付付近に会費支払い窓口を設けますので、未納分あります方はご利用ください。
開設日時：10月24日(木) 13:00-17:45
10月25日(金) 09:00-16:00 (総会開始前まで)

大会案内

● 秋季大会 URL <http://www.sgepss.org/sgepss/fallmeeting/FM2019/LOC2019/>

● 講演会・ポスター会場 熊本市国際交流会館
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-18

受付・LOC控室	6F	ホール前
A会場	6F	ホール
B会場	4F	第3会議室
C会場	4F	第1会議室
P会場	4F	第2会議室
	6F	ロビー1,2
運営委員会	4F	第1会議室
評議員会	4F	第1会議室
その他の会合1	5F	小会議室
その他の会合2	5F	中会議室

● 特別講演・総会会場

熊本市国際交流会館6Fホール

● 懇親会会場 ダイニングカフェ彩(熊本市役所14F)

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1

10月25日(金)19時開始：参加費 一般5000円、学生2000円

是非ご参加ください！

● 一般公開イベント会場

「科学実験で宇宙・惑星・地球の不思議を体験しよう！」

10月27日(日) 10:00-15:00

熊本博物館

〒860-0007 熊本市中央区古京町3-2

● 交通案内

【熊本市国際交流会館への交通案内】

＜熊本空港から＞

- ・ 空港リムジンバス(九州産交バス)で「熊本桜町バスターミナル」(旧「交通センター」すぐ近く)下車、徒歩約3分

＜JR 熊本駅から＞

- ・ 熊本市電で約15分「花畑町」下車、徒歩約3分
- ・ タクシーで約10分



(C) Kumamoto International Foundation



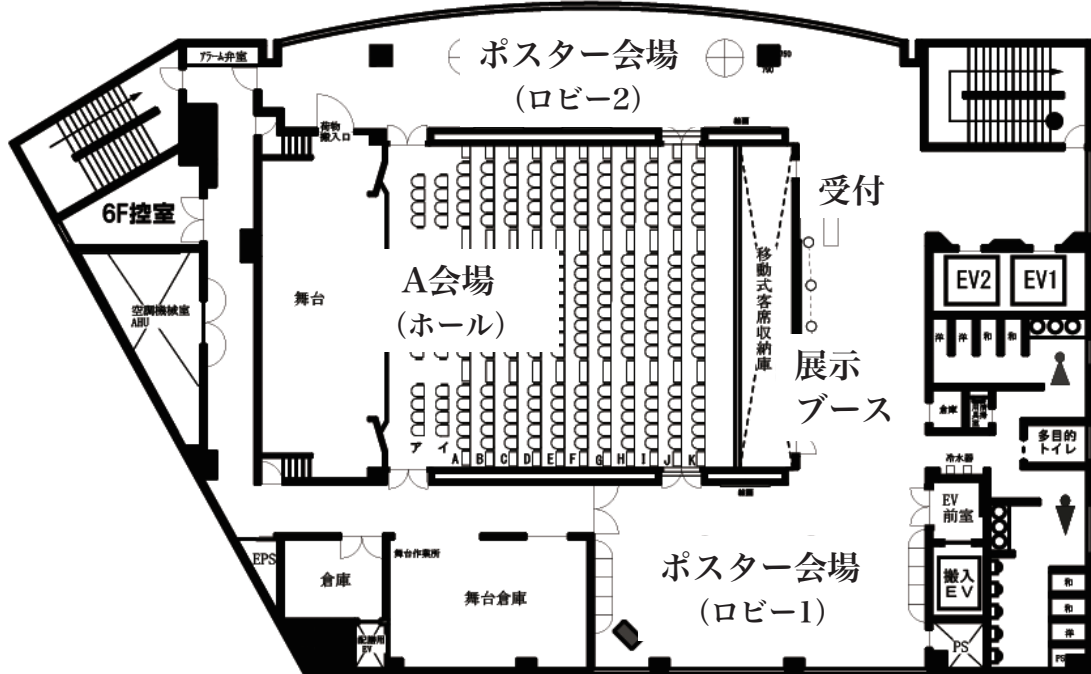
(C) Kumamoto International Foundation

＜自動車で来場の場合＞

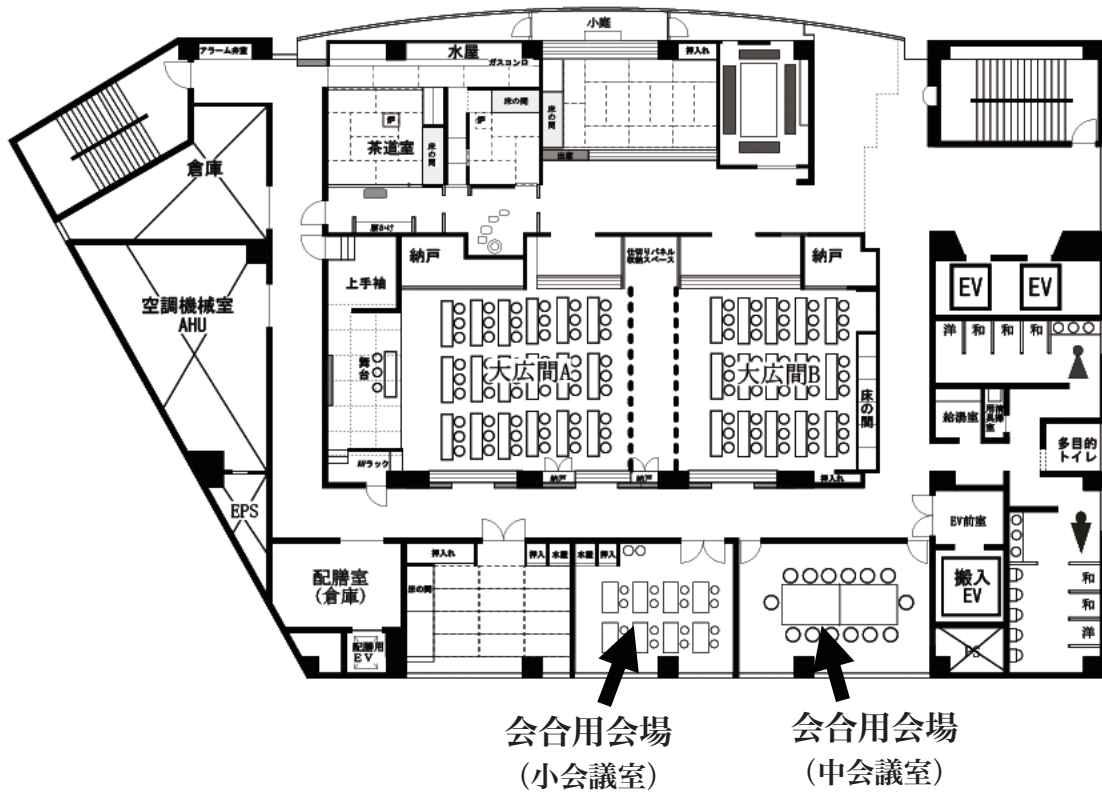
近隣の駐車場をご利用ください。会館地下に有料駐車場があります。
(車高ほかに制限あり、詳細は会館HPを参照ください)

● 講演会・会合会場

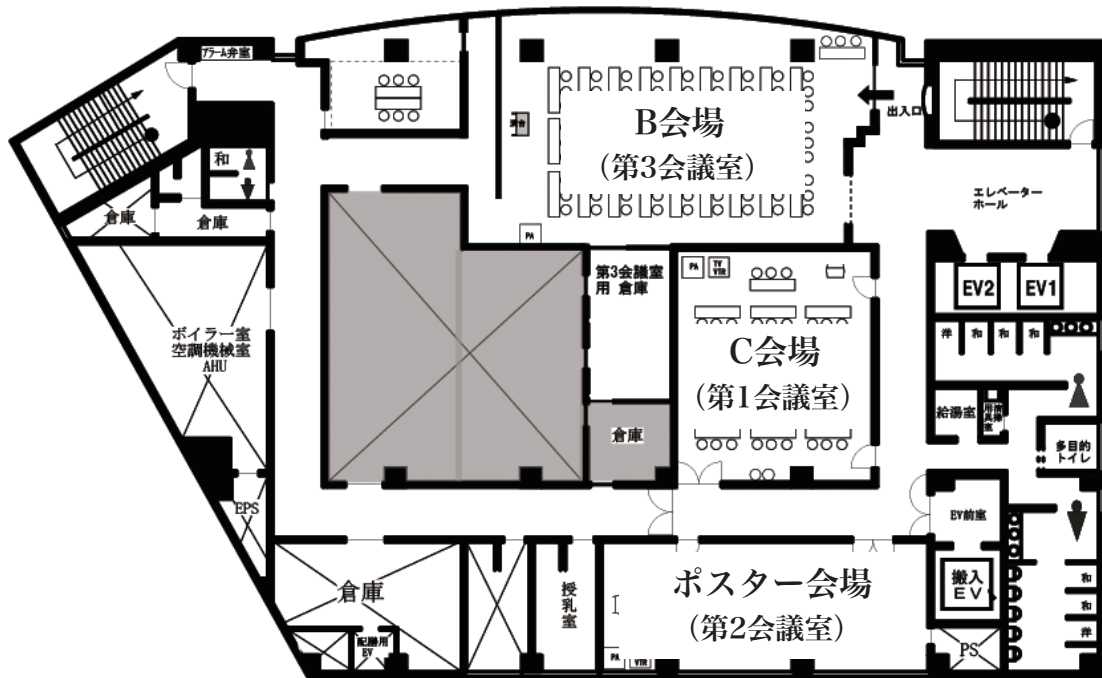
6F



5F



4F



● 無線LAN

1・2Fフロアでは、熊本市が運営する「熊本Free Wi-fi」を利用することができます。

● 展示ブース

熊本市国際交流会館6Fロビー2(受付ブース横)に展示ブースを設けます。

● 会期中の食事情報

会場から徒歩5分で熊本一の繁華街の下通りです。少し北の上通り周辺まで足を伸ばしていただくと、おしゃれなお店がたくさんあります。昼食には、会場前の坪井川を渡ったところにある城彩苑や、少し南の『サクラマチクマモト』(旧交通センター)にも飲食店が入っています。熊本はレストランのレベルが高く、コストパフォーマンス抜群です。お楽しみください。

● 会期中の食事情報

会場周辺にホテルが沢山あります。熊本駅周辺や水前寺駅周辺は会場まで不便ですし、飲食店も少ないので、会場周辺のホテルでの滞在を強くお勧めします。

● 会場周辺の医療機関

- 新町いえむらクリニック(内科・消化器科・小児科)
熊本県熊本市中央区新町1丁目7-15
tel) 096-353-5656
- 国立病院機構 熊本医療センター(総合診療科・小児科)
熊本県熊本市中央区二の丸1-5
tel) 096-353-6501

● 休憩室

お子さま連れや健康上の理由等で、休息が必要な方のために、休憩室を用意しています。部屋の解錠および利用者の安全のため、ご利用の前後に、6F受付にお申し出ください。

● 子育て関連

4・5Fに給湯室があります。電気ポットを6F受付に用意します。多目的トイレは4-6Fにあります。

● 組織委員会

大会委員長	渋谷 秀敏(熊本大学)	会計、受付、懇親会、運営委員会連絡
委員	望月 伸竜(熊本大学)	会場、受付、男女共同参画、ネットワーク
委員	宇津木 充(京都大学)	受付、会合用弁当
委員	穴井 千里(京都大学)	会場(ポスター)、受付
	SGEPSS運営委員	LOC HP、受付ほか

一般公開イベント

「科学実験で宇宙・惑星・地球の不思議を体験しよう！」

(地球電磁気・地球惑星圏学会 2019年一般公開イベント)

● 会 場 熊本博物館

● 日 時 10月27日(日)10:00-15:00

● 企画内容

☆ はかせと実験(一部要予約)

最先端で活躍するはかせの解説を聞きながら学べる実験を体験いただけます。

「手作りラジオで電波星をめざせ」(事前申込必要)

「ピンポン球惑星工作」(事前申込必要)

「光のフシギをしらべよう！」(事前申込不要)

「折り紙で自分の生まれた日の地球を作ろう」(事前申込不要)

☆おしえて★はかせ(展示・質問、予約不要)

地球惑星科学の最先端で活躍するはかせが趣向を凝らした展示をご用意しています。

○海はかせ ○火山はかせ ○宇宙天気はかせ

○デジタル地球儀(ダジック・アース)はかせ ○地磁気はかせ

● 関係団体等

主催：地球電磁気・地球惑星圏学会(SGEPSS)

共催：熊本博物館

● 連絡先 地球電磁気・地球惑星圏学会2019一般公開イベント担当

● E-mail outreach@sgepss.org

● URL <http://www.sgepss.org/ornew/>

プレスリリース

● 第146回講演会の発表より各セッションコンビナーが「優秀かつ社会に対するインパクトが強い研究」として推薦したものの中から、数件を会長が選定します。これらについて、講演会の1週間程度前にプレスリリースを行い、学会ホームページ(<http://www.sgepss.org/sgepss/>)でも公開する予定です。マスコミ関係者からの取材で新聞記事になったり、講演会当日にテレビ取材が入ったりすることもあり、SGEPSSの存在と活動を広く一般の方に知っていただくことに貢献しております。

● 連絡先 松田 昇也(matsuda@stp.isas.jaxa.jp)

(SGEPSSアウトリーチ部会)

第 1 日 目

10月23日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場
	<p>R010 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合 コンビナー：新堀 淳樹 (名大・宇地研) 池田 昭大 (鹿児島高専) 齊藤 慎司 (情報通信研究機構) 塩田 大幸 (情報通信研究機構) 座長：池田 昭大 (鹿児島高専)</p>	<p>R009 惑星圏・小天体 コンビナー：今村 剛 (東京大学) 白井 英之 (神戸大・システム情報) 土屋 史紀 (東北大・理・惑星プラズマ大気) 関 華奈子 (東大理・地球惑星科学専攻) 西野 真木 (ISAS/JAXA) 座長：八木 学 (RIKEN R-CCS) 白井 英之 (神戸大・システム情報)</p>
13:45	<p>R010-01 惑星間空間磁場の太陽風密度・速度-依存性 * 荒木 徹, 原田 裕己</p>	<p>R009-01 国際水星探査計画ベピコロomboの最新状況と今後の計画 * 村上 豪, 早川 基, 藤本 正樹, BepiColombo MMO プロジェクトチーム 早川 基</p>
14:00	<p>R010-02 2017/09/8-16のストームイベント中に観測された長寿命の2つピークのリングカレント帯プラズマ圧構造 * 今城 峻, 能勢 正仁, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 松岡 彩子, 桂華 邦裕, 堀 智昭, 寺本 万里子, Gkioulidou Matina, Lanzerotti Louis J., Mitchell Donald, 山本 和弘, 生松 聡, 野村 麗子, 藤本 晶子, 篠原 育, 三好 由純</p>	<p>R009-02 太陽風イオンによるスパッタリングを利用した小型天体の遠隔質量分析 * 横田 勝一郎, 寺田 健太郎, 齋藤 義文, 西野 真木, 清水 久芳, 高橋 太</p>
14:15	<p>R010-03 Stormtime overshielding electric fields observed by ROCSAT-1 * 橋本 久美子, 菊池 崇</p>	<p>R009-03 水星の中性Na大気の生成に対する周辺環境の寄与 * 鈴木 雄大, 吉岡 和夫</p>
14:30	<p>R010-04 Simultaneous observation of the SC electric fields with the HF Doppler sounders on the day- and night-sides * 菊池 崇, Chum Jaroslav, 富澤 一郎, 細川 敬祐, 橋本 久美子, 海老原 祐輔</p>	<p>R009-04 Sustainable dipolar morphology of a lunar dynamo driven by compositional convection * 兵藤 史, 高橋 太, 金嶋 聡, 清水 久芳, 綱川 秀夫</p>
14:45	<p>R010-05 航空航法用VHF電波を用いたスポラディックE広域モニタリングシステムの構築 * 細川 敬祐, 坂井 純, 富澤 一郎, 斎藤 享, 津川 卓也, 西岡 未知, 石井 守</p>	<p>R009-05 ひさぎで観測された木星オーロラの内因性準周期変動 * 埜 千尋, 木村 智樹, 土屋 史紀, 村上 豪, 北 元, 山崎 敦, 吉岡 和夫, 吉川 一朗, 笠羽 康正, 藤本 正樹</p>
15:00	<p>R010-06 リアルタイムGAIAを用いたスポラディックE層発生予測 * 品川 裕之, 陣 英克, 埜 千尋, 三好 勉信, 藤原 均</p>	<p>R009-06 Spiral structure of hot electron in the inner magnetosphere of Jupiter * 土屋 史紀, 荒川 峻, 三澤 浩昭, 古賀 亮一, 疋田 伶奈, 鈴木 文晴, 吉岡 和夫, 鍵谷 将人, 北 元, 木村 智樹, 笠羽 康正, 村上 豪, 吉川 一朗, 山崎 敦</p>
15:15	<p>R010-07 熱圏データ同化システムの開発と宇宙機軌道解析ツールとの連携 * 加藤 博司, 日南川 英明, 秋山 祐貴, 中村 信一, 中野 将弥, 杉本 理英, 陣 英克, 藤原 均, 三好 勉信</p>	<p>R009-07 Characteristics of Jupiter's decametric Riddle arcs observed by LWA and Juno * 今井 一雅, Higgins Charles A., Clarke Tracy, 今井 雅文, Kurth W.S.</p>
	(15:30 - 15:45 休憩)	(15:30 - 15:45 休憩)

第 1 日 目

10月23日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場
	<p>座長：塩田 大幸（情報通信研究機構）</p>	<p>座長：原田 裕己（京大・理・地球惑星） 土屋 史紀（東北大・理・惑星プラズマ大気）</p>
15：45	<p>R010-08 九州工業大学宇宙環境技術ラボラトリーの活動報告 *増井 博一, 寺本 万里子, 趙 孟佑</p>	<p>R009-08 火星における宇宙放射線被ばくの予測 *片岡 龍峰, 村瀬 清華, 佐藤 達彦, 塩田 大幸, 久保 勇樹, 三宅 晶子, 関 華奈子, 三好 由純</p>
16：00		<p>R009-09 Internally generated ULF waves in the Martian magnetosphere *原田 裕己, Ruhunusiri Suranga, Halekas Jasper S., Espley Jared R., DiBraccio Gina, McFadden James P., Mitchell David L., Mazelle Christian, Collinson Glyn, Brain David A., 原 拓也, 能勢 正仁, 生松 聡, 山本 和弘, Jakosky Bruce M.</p>
16：05	<p>R010-09 Perturbations by under the atmosphere phenomena: space weather and problems of volcanic ionospheric disturbances studies *中島 悠貴, 西田 究, 青木 陽介, 日置 幸介</p>	
16：15		<p>R009-10 Effects of the intrinsic magnetic field on the ion loss from Mars at 3.5 Ga and 4.5 Ga *坂田 遼弥, 関 華奈子, 堺 正太郎, 寺田 直樹, 品川 裕之, 田中 高史</p>
16：25	<p>R010-10 太陽地球圏環境予測プロジェクト(PSTEP)：宇宙天気理解と予測の相乗的発展を目指して *草野 完也</p>	
16：30		<p>R009-11 Study of ion composition in the polar plume from Mars based on MAVEN observations *坂倉 孝太郎, 関 華奈子, 堺 正太郎, Brain David A., McFadden James P., Halekas Jasper S., DiBraccio Gina, Jakosky Bruce M.</p>
16：45		<p>R009-12 Study of proton escape from Mars based on MAVEN observations *森 悠貴, 関 華奈子, 堺 正太郎, 原 拓也, Brain David A., McFadden James P., Halekas Jasper S., DiBraccio Gina, Eparvier Francis G., Jakosky Bruce M.</p>
17：00	<p>R010-11 Preparedness for Severe Space Weather Event *石井 守, 塩田 大幸, 埜 千尋</p>	<p>R009-13 中間赤外線中空ファイバーの低温環境下での透過率測定 *伊藤 良太, 平原 靖大, 松浦 祐司, 高見 康介, 中川 広務, 笠羽 康正, 山崎 敦</p>
17：15	<p>R010-12 18-19世紀における太陽地球環境と経済活動との関係 *渡辺 堯</p>	<p>R009-14 赤色矮星周りの系外惑星の外圏大気における酸素原子のエネルギー状態とトランジット観測による検出可能性 *村岡 徹, 亀田 真吾</p>
	<p>(17:30 終了)</p>	<p>(17:30 終了)</p>

第 2 日 目

10月24日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	<p>R010 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合 コンビナー：新堀 淳樹 (名大・宇地研) 池田 昭大 (鹿児島高専) 齊藤 慎司 (情報通信研究機構) 塩田 大幸 (情報通信研究機構) 座長：齊藤 慎司 (情報通信研究機構)</p>	<p>R009 惑星圏・小天体 コンビナー：今村 剛 (東京大学) 白井 英之 (神戸大・システム情報) 土屋 史紀 (東北大・理・惑星プラズマ大気) 関 華奈子 (東大理・地球惑星科学専攻) 西野 真木 (ISAS/JAXA) 座長：安藤 紘基 (京産大) 今村 剛 (東京大学)</p>	<p>R003 地球・惑星内部電磁気学 (電気伝導度、地殻活動電磁気学) コンビナー：浅利 晴紀 (気象庁地磁気観測所) 多田 訓子 (海洋研究開発機構・海域地震火山部門) 座長：多田 訓子 (海洋研究開発機構・海域地震火山部門) 吉村 令慧 (京大・防災研)</p>
09:00	<p>R010-13 Anomalous propagation of VHF radio waves used for instrument landing system due to the sporadic E layer *坂井 純, 細川 敬祐, 富澤 一郎, 斎藤 享</p>	<p>R009-15 大学規模の太陽系地上観測所、その将来計画：東北大の場合 *笠羽 康正, 坂野井 健, 鍵谷 将人, 平原 靖大, 三澤 浩昭, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 村田 功, 中川 広務, 木村 智樹, 小原 隆博, 岡野 章一, Zarka P.</p>	<p>R003-01 電流源と独立なMT応答関数の時間的変動について *佐藤 真也, 後藤 忠徳</p>
09:15	<p>R010-14 GBAS電離圏脅威モデルのためのプラズマバブルに伴う電離圏勾配の視線方向依存性解析 *中村 真帆, 斎藤 享, 吉原 貴之</p>	<p>R009-16 火星中間圏における異常昇温層の発見 *中川 広務, Jain Sonal, Montmessin Franck, Yelle Roger V., Schneider Nicholas M., Groller Hannes, 黒田 剛史, 吉田 奈央, 寺田 直樹, 関 華奈子, 今村 剛, 藤原 均</p>	<p>R003-02 ACTIVEから推定される2014-2015年阿蘇山マグマ噴火時における連続的な比抵抗構造時間変化モデル *南 拓人, 宇津木 充, 歌田 久司, 鍵山 恒臣</p>
09:30	<p>R010-15 Relationship between the large TEC fluctuation and ionospheric echoes observed by the SuperDARN radars during a geomagnetic storm *惣宇利 卓弥, 大塚 雄一, 新堀 淳樹, 津川 卓也, 西岡 未知, Bristow William A., Ruohoniemi John M., Shepherd Simon G., 西谷 望</p>	<p>R009-17 非静力学全球火星大気循環モデルの開発と高解像度計算 *樫村 博基, 八代 尚, 西澤 誠也, 富田 浩文, 中島 健介, 石渡 正樹, 高橋 芳幸, 林 祥介</p>	<p>R003-03 地磁気火山監視における人工衛星主磁場モデルの有用性について *浅利 晴紀, 長町 信吾, 増子 徳道, 高橋 幸祐, 小山 崇夫</p>
09:45	<p>R010-16 Daily and seasonal variations of Schumann Resonance *池田 昭大, 魚住 禎司, 吉川 顕正, 藤本 晶子, 阿部 修司</p>	<p>R009-18 火星大気大循環モデリングの精緻化：重力波と水輸送 *黒田 剛史</p>	<p>R003-04 雲仙火山極浅部で発生する特徴的な地震と比抵抗構造の関係性 *橋本 匡, 相澤 広記</p>
10:00	<p>R010-17 カナダ・ケベック州における地磁気誘導電流に起因する電力網異常と地磁気の統計的關係 *Reiter Kyle, 中村 紗都子, 海老原 祐輔</p>	<p>R009-19 Temperature in the Venusian mesosphere observed by mid-infrared heterodyne spectrometer in 2018 *高見 康介, 中川 広務, 佐川 英夫, 笠羽 康正, 村田 功</p>	<p>R003-05 2016年熊本地震の余震活動と比抵抗構造の関係を詳細にみることで考えられること *相澤 広記</p>

第 2 日 目

10月24日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
10:15	<p>R010-18 1989年3月ケベック大停電太陽嵐再考 *塩田 大幸, 坂口 歌織, 丸橋 克英, 石橋 弘光, 久保 勇樹</p> <p>(10:30 - 10:45 休憩)</p> <p>R006 磁気圏 コンピーナ: 中野 慎也 (統数研) 桂華 邦裕 (東大・理) 西山 尚典 (極地研) 銭谷 誠司 (神戸大学) 座長: 高橋 直子 (東大・理) 西山 尚典 (極地研)</p>	<p>R009-20 Wind field at the cloud top of Venus covering all local time obtained from thermal infrared images *福谷 貴一, 今村 剛, 田口 真, 福原 哲哉, 神山 徹</p> <p>(10:30 - 10:45 休憩)</p> <p>座長: 高木 聖子 (北海道大学) 関 華奈子 (東大理・地球惑星科学専攻)</p>	<p>(10:30 - 10:45 休憩)</p> <p>座長: 浅利 晴紀 (気象庁地磁気観測所) 清水 久芳 (東大・地震研)</p>
10:45	<p>R006-01 3D analysis of discrete arcs based on auroral computed tomography *田中 良昌, 小川 泰信, 門倉 昭, 西山 尚典, 吉川 顕正</p>	<p>R009-21 大気大循環モデルを用いた金星雲分布の再現 *安藤 紘基, 高木 征弘, 杉本 憲彦, 佐川 英夫, 松田 佳久</p>	<p>R003-06 学部学生向け地学実験における空中磁気探査ツールとしての市販ドローンの試用 *吉村 令慧, 石川 尚人, 酒井 敏, 加藤 護, 小木曾 哲</p>
11:00	<p>R006-02 Ionospheric Polarization: Deformation of Ionospheric Convection and Effects on Magnetosphere *中溝 葵, 吉川 顕正, Ohtani Shinichi, 田中 高史</p>	<p>R009-22 3-D thermal structure of the Venus atmosphere obtained by Akatsuki/LIR *秋場 聖浩, 福原 哲哉, 田口 真, 今村 剛, 神山 徹, 佐藤 隆雄</p>	<p>R003-07 繰り返し注水実験から推定される野島断層の回復過程 *村上 英記, 大志万 直人, 吉村 令慧, 三浦 勉, 加茂 正人</p>
11:15	<p>R006-03 惑星間空間磁場朝夕成分反転を伴わないトランスポーラーアーク形成過程 *京極 恒友, 渡辺 正和, 田中 高史, 藤田 茂</p>	<p>R009-23 金星探査機「あかつき」によって観測された中緯度帯雲頂構造 *河瀬 慎一郎, 田口 真, 福原 哲哉, Lee Yeon Joo, 山崎 敦, 神山 徹</p>	<p>R003-08 3次元有限要素法を用いた2011年東北沖地震による地殻変動および内部応力のモデリング *橋間 昭徳</p>
11:30	<p>R006-04 Ionospheric flow fluctuations at mid-latitudes during storms as seen by SuperDARN-Van Allen Probes-Arased conjunctions *堀 智昭, 西谷 望, Shepherd Simon G., Ruohoniemi John M., 桂華 邦裕, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 寺本 万里子, 松岡 彩子, 三好 由純, 篠原 育, Lanzerotti Louis J., Mitchell Donald, Kletzing Craig A.</p>	<p>R009-24 Properties of gravity wave packets detected in radio occultation temperature profiles of the Venus atmosphere *森 亮太, 今村 剛, 安藤 紘基</p>	

<p>11 : 45</p>	<p>R006-05 Study of the occurrence characteristics of SAPS observed by the SuperDARN Hokkaido East Radar with the beam-swing technique *大矢 健斗, 西谷 望, 堀 智昭</p>	<p>R009-25 Restoration-by-Deconvolution法を用いたあかつきIR2夜面データの復元(と科学成果) *Yun Choon Wei, 佐藤 毅彦, 佐藤 隆雄, 堀之内 武, Peralta Javier, McGouldrick Kevin</p>	<p>R003-09 層構造を持つ弾性媒質中の変位・応力源から生じるビエゾ磁場の波数空間における表現式 *山崎 健一</p>
<p>12 : 00</p>	<p>R006-06 SuperDARNレーダーで観測されたSAPS振動の複数イベント解析 *西谷 望, 堀 智昭</p>	<p>R009-26 LIRで同定された金星における惑星規模大気波動の構造 *神山 徹, 今井 正堯, 今村 剛, 堀之内 武, 田口 真, 福原 哲哉, 佐藤 隆雄, 村上 真也, はしもと じょーじ, Lee Yeon Joo, 二口 将彦, 山田 学, 秋場 聖浩, 佐藤 毅彦, 中村 正人</p>	<p>R003-10 地殻岩石の応力磁気効果によるコサイスマックかつグローバルな過渡的・静的地球電磁気変化の解析解(1)トロイダル変位起源成分 *小河 勉</p>
<p>12 : 15</p>	<p>R006-07 Dynamics of the Ionosphere/Plasmasphere System: Comparisons Between Arase/PWE Observations and the IPE Model Simulations *尾花 由紀, 丸山 奈緒美, 新堀 淳樹, 橋本 久美子, Fedrizzi Mariangel, 能勢 正仁, 大塚 雄一, 西谷 望, 堀 智昭, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 松田 昇也, 松岡 彩子, 笠原 禎也, 吉川 顕正, 三好 由純, 篠原 育 (12:30 - 13:45 昼休み)</p>	<p>R009-27 惑星大気の筋状模様の傾きについて *今村 剛 (12:30 - 13:45 昼休み)</p>	<p>R003-11 環電流型磁場変動による薄層球殻モデルの電磁誘導計算 *大志万 直人 (12:30 - 13:45 昼休み)</p>
	<p>座長：野村 麗子 (NAOJ) 中野 慎也 (統数研)</p>	<p>R008 宇宙プラズマ理論・シミュレーション コンビーナ：梅田 隆行 (名大ISEE) 三宅 洋平 (神戸大学) 天野 孝伸 (東大・理) 成行 泰裕 (富山大・人間発達) 中村 匡 (福井県大) 座長：中村 匡 (福井県大) 天野 孝伸 (東大・理)</p>	<p>R004 地磁気・古地磁気・岩石磁気 コンビーナ：櫻庭 中 (東京大・理・地球惑星) 松島 政貴 (東工大・地惑) 座長：桜庭 中 (東京大・理・地球惑星) 松島 政貴 (東工大・地惑)</p>
<p>13 : 45</p>	<p>R006-08 高エネルギー電子降下によるcosmic noise absorption(CNA)の変動とオーロラの形態変化 *宮本 太志朗, 大山 伸一郎, 小川 泰信, 細川 敬祐, 栗田 怜, 三好 由純, 宮岡 宏, 片岡 龍峰, Raita Tero</p>	<p>R008-01 四元数によるジャイロカイネティクス *中村 匡</p>	<p>R004-01 帯磁率異方性による赤色泥中の生物源磁鉄鉱の定向配列推定 *白井 洋一, 山崎 俊嗣, 岡 壽崇, 熊谷 祐穂</p>
<p>14 : 00</p>	<p>R006-09 オーロラ爆発と脈動オーロラの昭和基地-あらせ衛星-チョルネス共役観測 *内田 ヘルベルト陽仁, 片岡 龍峰, 村瀬 清華, 門倉 昭, 行松 彰, 藤田 茂, 松岡 彩子, 松田 昇也, 笠原 禎也, 小路 真史, 三好 由純, 篠原 育, 塩川 和夫, 海老原 祐輔, 栗田 怜, 細川 敬祐</p>	<p>R008-02 非ガウス統計にしたがうプラズマの現象論的記述について *羽田 亨</p>	<p>R004-02 樹木年輪中の微量磁性物質のSQUID顕微鏡による高感度・高分解能検出 *小田 啓邦, 河合 淳, 佐藤 雅彦, 宮原 ひろ子</p>

第 2 日 目

10月24日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
14:15	R006-10 Spatial distribution of multiple temporal variations of pulsating aurora *川村 勇貴, 細川 敬祐, 大山 伸一郎, 三好 由純, 小川 泰信, 栗田 怜, 藤井 良一	R008-03 磁気圏にジャイロ流体モデルを用いたフィードバック不安定性の理論解析 *西村 征也	R004-03 陶器窯跡群出土土器小片からの考古地磁気強度推定 *山本 裕二, 北原 優, 畠山 唯達, 中久保 辰夫
14:30	R006-11 Large-scale signatures of pulsating aurora characterized by ambient parameters in the magnetosphere *江袋 叡, 細川 敬祐, 三好 由純, 大山 伸一郎, 小川 泰信, 栗田 怜, 川村 勇貴, 藤井 良一	R008-04 磁力線長の不均一性を考慮に入れたM-I結合系でのFeedback不安定性の解析 *伊藤 諒, 渡邊 智彦, 前山 伸也	R004-04 支笏カルデラ噴火堆積物の古地磁気学的測定: 古地磁気永年変化にもとづく堆積物の時間スケールの推定 *望月 伸竜, 穴井 千里, 治田 有里紗, 渋谷 秀敏
14:45	R006-12 低高度衛星からの光学観測を用いた磁気嵐時の孤立型プロトンオーロラの汎地球的連続観測 *川合 悠生, 細川 敬祐, 穂積 裕太, 塩川 和夫, 栗田 怜, 尾崎 光紀, 坂野井 健, Shevtsov Boris, Poddelsky Igor, Raita Tero	R008-05 一様抵抗テアリング不安定性の線形理論 *清水 徹	R004-05 別府湾のピストンコア試料に記録された完新世古地磁気永年変化 *林田 明, 安樂 和央, 大野 正夫, 加 三千宣, 竹村 恵二
15:00	R006-13 Pc5磁力線共鳴に伴うオーロラアーク脈動と脈動オーロラ強度変調 *佐藤 夏雄, 行松 彰, 田中 良昌, 堀 智昭, 門倉 昭, 櫻井 亨	R008-06 斜め伝搬ホイッスラー波動による電子のピッチ角拡散過程 *大塚 史子, 岡 光夫, 松清 修一	R004-06 Forecasts of geomagnetic secular variation using core surface flow models *松島 政貴, 清水 久芳, 高橋 太, 南 拓人, 中野 慎也, 藤 浩明
15:15	R006-14 Dependence of the Auroral Electrojet Intensity on the Solar Zenith Angle and Dipole Tilt *Ohtani Shinichi	R008-07 Nonlinear Trapping Conditions of relativistic electrons interacting with whistler-mode chorus emissions at oblique angles *大村 善治, 謝 怡凱	R004-07 異なる内核半径における地球ダイナモに対する温度勾配に関する境界条件の効果について *西田 有輝, 加藤 雄人, 松井 宏晃, 松島 政貴, 熊本 篤志
	(15:30 - 15:45 休憩)	(15:30 - 15:45 休憩)	(15:30 - 15:45 休憩)
	座長: 寺本 万里子 (九工大) 中野 慎也 (統数研)	座長: 梅田 隆行 (名大ISEE) 箕島 敬 (JAMSTEC)	座長: 松島 政貴 (東工大・地惑) 桜庭 中 (東京大・理・地球惑星)
15:45	R006-15 あらせ(ERG)で観測されたヘクトメータ線スペクトルの励起源と波動特性 *橋本 弘藏, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 笠原 禎也, 三好 由純, 大塚 雄一, 新堀 淳樹, 横山 竜宏, 長野 勇, 松岡 彩子	R008-08 磁気流体力学方程式に対する多状態AUSM系スキーム *箕島 敬, 北村 圭一, 三好 隆博	ポスター発表の紹介(座長がおこなう)
15:50			R004-08 地磁気の逆転と気候変化、人類の進化・拡散に関する磁気・気候層序年代制約 *兵頭 政幸

<p>16 : 00</p>	<p>Cancel 磁力線曲率半径の増加による Field line dipolarization *坂 翁介</p>	<p>R008-09 運動論的線形解析の固有値問題としての定式化 *天野 孝伸</p>	
<p>16 : 15</p>	<p>R006-17 地磁気脈動の可視化の新しい手法 *高橋 主衛, Heilig Balazs</p>	<p>R008-10 A comparison of relativistic particle integrators in a fast magnetized flow *銭谷 誠司, 加藤 恒彦</p>	<p>R004-09 西南日本, 一志層群下部の古地磁気 *星 博幸, 佐橋 花菜, 柳沢 幸夫, 栗原 行人, 廣木 義久</p>
<p>16 : 30</p>	<p>R006-18 Revisiting the energy conversion process of Birkeland current generation in the M-I coupled system *吉川 顕正</p>	<p>R008-11 ジャイロ運動論的シミュレーションコードの双極型磁場配位への拡張 *渡邊 智彦</p>	<p>R004-10 Magnetic anomaly caused by lightning stroke in the grounds of a shrine *高橋 幸弘, 清水 久芳, 若狭 幸</p>
<p>16 : 45</p>	<p>R006-19 不均一電離圏での共鳴型キャビティモード *樋渡 淳也, 渡邊 智彦, 前山 伸也</p>	<p>R008-12 Experimental investigations on space and astrophysical phenomena with intense lasers *蔵満 康浩</p>	<p>R004-11 赤褐色黒曜石中の巨大な保磁力をもつ luogufengite (ϵ-Fe₂O₃) *福岡 浩司, 佐野 恭平</p>
<p>17 : 00</p>	<p>R006-20 サブストームオンセットあとに励起される Pc4 脈動とオーロラストリーマーの動態解明に向けて *波多江 真紀, 吉川 顕正, 魚住 禎司</p>	<p>R008-13 ピッチ角異方性を取り入れた統計的衝撃波ドリフト加速モデルによる非相対論的電子加速の理論解析 *加藤 拓馬, 天野 孝伸</p>	<p>R004-12 丹沢複合深成岩体の道志ハンレイ岩中から分離した斜長石粒子の岩石磁気研究 *加藤 千恵, 佐藤 雅彦, 山本 裕二</p>
<p>17 : 15</p>	<p>R006-21 Energetic electron precipitations showing ULF modulation observed by VLF/LF standard radio waves *宮下 拓也, 大矢 浩代, 土屋 史紀, 中田 裕之, 鷹野 敏明, 塩川 和夫, 三好 由純, 西谷 望, Connors Martin, Shepherd Simon G.</p>	<p>R008-14 相対論的衝撃波における高強度電磁波放射と粒子加速 *岩本 昌倫, 天野 孝伸, 星野 真弘, 松本 洋介</p>	<p>R004-13 Preliminary estimations of the exsolved magnetite content in crustal rock and its contribution to the crustal magnetization *佐藤 雅彦, 潮田 雅司, 中田 亮一, 田村 裕二郎, 山本 伸次</p>
	<p>(17:30 終了)</p>	<p>(17:30 終了)</p>	<p>(17:30 終了)</p>

第 3 日 目

10月25日(金)

開始時間	A 会 場	B 会 場
	<p>R006 磁気圏 コンビーナ：中野 慎也 (統数研) 桂華 邦裕 (東大・理) 西山 尚典 (極地研) 銭谷 誠司 (神戸大学) 座長：今城 峻 (名大・ISEE) 桂華 邦裕 (東大・理)</p>	<p>R005 大気圏・電離圏 コンビーナ：津田 卓雄 (電通大) 西岡 未知 (情報通信研究機構) 座長：大塚 雄一 (名大宇地研)</p>
09:00	<p>R006-22 On contribution of minor ion species to the ring current of Earth's magnetosphere: Arase (ERG) satellite observations * 関 華奈子, 桂華 邦裕, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 堀 智昭, 浅村 和史, 東尾 奈々, 高田 雅康, 小川 泰信, 松岡 彩子, 寺本 万里子, 三好 由純, 篠原 育</p>	<p>R005-01 高解像度シミュレーションによるプラズマバブル内部構造の発達と減衰過程 * 横山 竜宏, 陣 英克, 品川 裕之, Rino Charles, Carrano Charles</p>
09:15	<p>R006-23 Statistical Property of Long Lasting Poloidal Pc 4-5 Waves and Its Relation with Proton Phase Space Density Variations * 山本 和弘, 能勢 正仁, 桂華 邦裕, Kletzing Craig A., Smith Charles W., Macdowall Robert J., Lanzerotti Louis J., Mitchell Donald, Kim Hyomin</p>	<p>R005-02 Role of pre-reversal enhancement in the generation of equatorial plasma bubble using observation and model simulation * Ghosh Priyanka, 大塚 雄一, Mani Sivakandan, 津川 卓也, Hozumi Kornyanat, 品川 裕之</p>
09:30	<p>R006-24 ドリフト運動論モデルに基づく環電流イオンとのドリフトバウンス共鳴によって励起される storm-time Pc5 ULF 波動の研究 * 山川 智嗣, 関 華奈子, 天野 孝伸, 高橋 直子, 三好 由純</p>	<p>R005-03 GNU Radio Beacon Receiver 2 (GRBR2)の開発 -- 衛星打上げ後の状況報告 -- * 山本 衛, Tsunoda Roland T.</p>
09:45	<p>R006-25 Relations between ULF waves and ion distributions in the magnetosphere: MMS observations * 生松 聡, Le Guan, 能勢 正仁, Fuselier Stephen</p>	<p>R005-04 S-310-44号機観測ロケットによって観測されたSq電流系におけるVLF帯波動の解析 * 中村 龍一郎, 三宅 壮聡, 石坂 圭吾, 阿部 琢美, 熊本 篤志, 田中 真</p>
10:00	<p>R006-26 Statistical analysis for trunk structure of ring current ions using Arase ion observations * 藤井 亮佑, 三好 由純, 小路 真史, 浅村 和史, Kistler Lynn M., ジョルダノヴァ ヴァニア, 堀 智昭, 横田 勝一郎, 笠原 慧, 桂華 邦裕, 松岡 彩子, 篠原 育</p>	<p>R005-05 Lower hybrid resonance (LHR) waves around the Sq current focus in the winter lower ionosphere * 熊本 篤志, 阿部 琢美, 石坂 圭吾, 田中 真</p>
10:15	<p>R006-27 2017年3月28日にあらせ衛星で観測されたSARアークのソース領域における初めてのプラズマ・電磁場観測 * 稲葉 裕大, 塩川 和夫, 大山 伸一郎, 大塚 雄一, 新堀 淳樹, 風間 洋一, 横田 勝一郎, 笠原 慧, 桂華 邦裕, 堀 智昭, 松岡 彩子, 笠原 禎也, 熊本 篤志, 笠羽 康正, 小路 真史, 三好 由純, 篠原 育</p>	<p>R005-06 中・低緯度でSwarm衛星が観測する磁場および電子密度変動微細構造の比較 * 家森 俊彦, 青山 忠司, 横山 佳弘</p>
	(10:30 - 10:45 休憩)	(10:30 - 10:45 休憩)

座長：栗田 怜 (名大ISEE)
 銭谷 誠司 (神戸大学)

- 10:45 R006-28 Molecular ion upflow observed by EISCAT in conjunction with Arase during the September 7, 2017 magnetic storm
 *高田 雅康, 関 華奈子, 小川 泰信, 桂華 邦裕, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 堀 智昭, 浅村 和史, 三好 由純, 篠原 育
- 11:00 R006-29 Field-aligned and transverse plasma accelerations and spatial distributions observed by Reimei and FAST in the auroral regions
 *平原 聖文, 北村 成寿
- 11:15 R006-30 宇宙空間における電子とイオンの同時観測のための二重殻式広視野エネルギー分析器の開発
 *武井 智美, 平原 聖文, 横田 勝一郎
- 11:30 R006-31 粒子センサ用高速粒子検出回路の集積化に関する研究
 *菊川 素如, 小嶋 浩嗣, 斎藤 義文, 浅村 和史
- 11:45 R006-32 Arase衛星S-WPIA解析におけるプラズマ波動及び粒子の較正に関する評価
 *三木 淳平, 小嶋 浩嗣, 加藤 雄人, 松田 昇也, 笠原 禎也, 西澤 宏幸, 疋島 充, 栗田 怜, 北原 理弘, 笠原 慧, 三好 由純, 熊本 篤志, 松岡 彩子, 横田 勝一郎, 堀 智昭, 桂華 邦裕
- 12:00 R006-33 惑星探査用高エネルギー電子観測器のASIC開発
 *菅生 真, 笠原 慧, 池田 博一, 小嶋 浩嗣
- 12:15 R006-34 X線天文衛星「すざく」を用いた地球磁気圏における電荷交換X線発光イベントの系統解析
 *伊師 大貴, 石川 久美, 江副 祐一郎, 三好 由純, 寺田 直樹

(12:30 終了)

座長：齊藤 昭則 (京都大・理・地球物理)

- R005-07 電離圏最下部の電子密度構造について
 *阿部 琢美
- R005-08 Comparison of daytime medium-scale traveling ionospheric disturbance between GPS observation and GAIA simulation
 *Mani Sivakandan, 大塚 雄一, Ghosh Priyanka, 品川 裕之, 三好 勉信, 新堀 淳樹, 津川 卓也, 西岡 未知
- R005-09 Seasonal differences in fine structures of the Es layer observed by a Ca+ resonance scattering lidar
 *江尻 省, 西山 尚典, 津野 克彦, 津田 卓雄, 阿保 真, 川原 琢也, 和田 智之, 中村 卓司
- R005-10 中緯度域スボラディックE層の有する様々な構造の発生メカニズムに関するシミュレーション
 *安藤 慧, 齊藤 昭則, 品川 裕之, 江尻 省, 宮崎 真一
- R005-11 航空航法用VHF帯電波の異常伝搬とGPS-ROTIを組み合わせたスボラディックE層2次元空間構造の広域可視化
 *木村 康沢, 細川 敬祐, 坂井 純, 斎藤 享, 津川 卓也, 西岡 未知, 石井 守, 冨澤 一郎
- R005-12 高緯度電離圏擾乱のSARイメージング
 *佐藤 博厚, Kim Jun Su, 小川 泰信, Haggstrom Ingemar
- R005-13 GNSS-TECとSuperDARNレーダー観測に見られるSEDの時間・空間発展について
 *新堀 淳樹, 大塚 雄一, 惣宇利 卓弥, 津川 卓也, 西岡 未知, Bristow William A., Ruohoniemi John M., Shepherd Simon G., 西谷 望

(12:30 終了)

第 3 日 目

10月25日(金)

開始時間	
特別講演 (熊本市国際交流会館 6F ホール)	
13:45 - 14:30	「2016年熊本地震 ～タケイワタツノミコトの一蹴り～」 大倉 敬宏 博士 (京都大学 大学院理学研究科 附属地球熱学研究施設 火山研究センター)
田中館賞受賞記念講演 (熊本市国際交流会館 6F ホール)	
14:30 - 14:50	「ひさき衛星に搭載した極端紫外波長域における惑星望遠鏡の開発と木星内部磁気圏のダイナミクスに関する研究」 吉川 一朗 会員 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科)
15:00 - 15:30	「GPS及びレーダーを用いた中・低緯度電離圏擾乱の観測的研究」 大塚 雄一 会員 (名古屋大学 宇宙地球環境研究所)
15:30 - 16:00	「グローバル数値モデルを用いた熱圏・電離圏変動の研究」 藤原 均 会員 (成蹊大学 理工学部)
16:10 - 18:40	第146回総会 (熊本市国際交流会館 6F ホール)
19:00 - 21:00	懇親会 (ダイニングカフェ彩)

第 4 日 目

10月26日(土)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	R006 磁気圏 コンビナー：中野 慎也 (統数研) 桂華 邦裕 (東大・理) 西山 尚典 (極地研) 銭谷 誠司 (神戸大学) 座長：小路 真史 (名大ISEE) 中野 慎也 (統数研)	R005 大気圏・電離圏 コンビナー：津田 卓雄 (電通大) 西岡 未知 (情報通信研究機構) 座長：西山 尚典 (極地研)	R007 太陽圏 コンビナー：成行 泰裕 (富山大・人間発達) 岩井 一正 (名大 ISEE) 西野 真木 (ISAS/JAXA) 坪内 健 (電気通信大学) 座長：成行 泰裕 (富山大・人間発達)
09:00	R006-35 Homogeneity of soft electron precipitation in the cusp for northward IMF *田口 聡, 高須 浩平, 細川 敬祐	R005-14 気象再解析データ中の気温・オゾンに現れる太陽プロトンイベントの影響 *富川 喜弘	R007-01 Contribution of pickup ions to the radial profile of the heliosheath *坪内 健
09:15	R006-36 Self-consistent particle simulation of falling tone emissions via nonlinear wave-particle interactions *野儀 武志, 大村 善治	R005-15 大型大気レーダーPANSYで観測される中間圏エコー強度のオーロラ活動依存性 *村瀬 清華, 片岡 龍峰, 西山 尚典, 西村 耕司, 橋本 大志, 田中 良昌, 門倉 昭, 富川 喜弘, 堤 雅基, 佐藤 薫, 三好 由純	R007-02 2018-19年のひさき-NICER-X線望遠鏡協調観測で発見された近接連星系における恒星フレア *木村 智樹, 岩切 渉, 山崎 敦, 村上 豪, 土屋 史紀, 吉岡 和夫, 北 元, 桑原 正輝, 鳥海 森
09:30	R006-37 地球近傍での磁気リコネクション境界領域における粒子加熱に関する統計解析 *荒木 瑞穂, 星野 真弘, 桂華 邦裕, 北村 成寿, 齋藤 義文	R005-16 国際宇宙ステーションからのデジタルカメラ観測を用いた脈動オーロラ時空間特性の広域可視化 *南條 壮汰, 穂積 裕太, 細川 敬祐, 片岡 龍峰, 三好 由純, 大山 伸一郎, 尾崎 光紀, 塩川 和夫, 栗田 伶	R007-03 表面ピッチ角の扱いが異なるトーラス型フラックスロープモデルフィッティングの比較 *西村 信彦, 丸橋 克英, 徳丸 宗利
09:45	R006-38 地球磁気圏尾部リコネクション領域におけるイオン・電子温度のフロー速度依存性 *渡邊 香里, 桂華 邦裕, 星野 真弘, 北村 成寿, 齋藤 義文	R005-17 しらせ船舶搭載オーロラ・大気光の観測全天イメージャーの開発 *八木 直志, 坂野井 健, 穂積 裕太, 津田 卓雄, 齊藤 昭則, 江尻 省, 西山 尚典, 解良 拓海	Cancel 2015年6月22日発生の磁気あらしに関わる太陽風じょう乱の伝搬 *丸橋 克英, 久保 勇樹, 塩田 大幸, 徳丸 宗利, 岩井 一正, 西村 信彦, Jackson Bernard
10:00	R006-39 あらせ衛星のHEP観測器による内帯・スロット領域でのMeVプロトン観測 *戸田 穂乃香, 三宅 互, 三谷 烈史, 高島 健, 三好 由純, Park Inchun, 堀 智昭	R005-18 カस्प領域における中性大気質量密度異常の数値モデリング *大井川 智一, 品川 裕之, 田口 聡	R007-05 Isolated Enhancement of >10MeV protons at or near interplanetary shock *小原 隆博
10:15	R006-40 Flux decrease of outer radiation belt electrons associated with solar wind pressure pulse: A Code coupling simulation *伊藤 大輝, 三好 由純, 齋藤 慎司, 松本 洋介, 天野 孝伸 (10:30 - 10:45 休憩)	R005-19 電離圏電気伝導度を算出するための衝突周波数 *家田 章正 (10:30 - 10:45 休憩)	R007-06 電波掩蔽観測による太陽コロナの準周期変動と太陽活動度依存性の研究 *千葉 翔太, 今村 剛, 安藤 紘基, 徳丸 宗利, 浅井 歩, 松本 琢磨 (10:30 - 10:45 休憩)

第 4 日 目

10月26日(土)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	座長：松田昇也 (ISAS/JAXA) 桂華 邦裕 (東大・理)	座長：富川喜弘 (極地研)	座長：坪内 健 (電気通信大学)
10:45	R006-41 Relative contribution of ULF and chorus waves to the radiation belt variation *高橋 直子, 関 華奈子, フォック メイチン, Zheng Yihua, 三好 由純, 笠原 慧, 桂華 邦裕, Hartley David, 笠原 禎也, 笠羽 康正, 東尾 奈々, 松岡 彩子, 横田 勝一郎, 堀 智昭, 篠原 育	R005-20 下層大気起源のプラネタリー波が電離圏変動に及ぼす影響について *三好 勉信, 山崎 洋介, 陣 英克, 藤田 茂, 吉川 顕正, 阿部 修司	R007-07 次世代太陽圏観測装置の検討と試作機的设计 *岩井 一正, 徳丸 宗利, 藤木 謙一
11:00	R006-42 Global spatio-temporal development of magnetospheric ELF/VLF waves based on ground-satellite observation and RAM simulation *竹下 祐平, 塩川 和夫, 三好 由純, 尾崎 光紀, 笠原 禎也, 大山 伸一郎, Connors Martin, Manninen Jryki, Kletzing Craig A., ジョルダノ ヴァ ヴァニア, Baishev Dmitry, Oinats Alexey, Kurkin Volodya	R005-21 Vertical Structure of Terdiurnal Tides in the Antarctic MLT Region: 15-Year Observation Over Syowa *Liu Huixin, 堤 雅基	R007-08 かにバルサーの太陽掩蔽による5-14 Rsにおけるコロナプラズマ密度測定 *徳丸 宗利, 俵 海人, 前田 龍哉, 岳藤 一宏, 寺澤 敏夫
11:15	R006-43 Mass- and charge-dependent ion energization in the near-Earth magnetotail: Arase observations *桂華 邦裕, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 星野 真弘, 関 華奈子, 天野 孝伸, Kistler Lynn M., 能勢 正仁, 三好 由純, 堀 智昭, 篠原 育	R005-22 赤道成層圏を介した南北半球間結合 *安井 良輔, 佐藤 薫, 三好 勉信	R007-09 高速太陽風の三次元磁気流体シミュレーション *庄田 宗人, 鈴木 建, 横山 央明
11:30	R006-44 あらせ衛星と線形解析による電子サイクロトロン高調波とその発生環境に関する考察 *新城 藍里, 小嶋 浩嗣, 笠原 禎也, 風間 洋一, 白井 英之, 三好 由純, 笠羽 康正, 松田 昇也, Wang S.-Y., Tam Sunny W. Y., 熊本 篤志, 松岡 彩子	(15分休憩)	R007-10 Identification of coarse-graining scales of solar wind Alfvénic turbulence via time series of a single point measurement *成行 泰裕
11:45	R006-45 Pitch angle scattering by electrostatic electron cyclotron harmonic waves based on Arase observations *吹澤 瑞貴, 坂野井 健, 三好 由純, 風間 洋一, 笠原 禎也, 松田 昇也, 松岡 彩子, Wang Shiang-Yu, Tam Sunny W. Y.	R005-24 民間会社が運用する観測ロケットMomoシリーズを用いた高層大気中音波伝搬の計測 *山本 真行	R007-11 月ウェイク中タイプIIエントリープロトンに伴うELF波の振動方向について *中川 朋子, 高橋 太, 清水 久芳, 斎藤 義文
12:00	R006-46 Comparison of EMIC wave distributions between the magnetic equator and higher magnetic latitudes *田 采祐, 三好 由純, 笠原 禎也, 笠羽 康正, 松田 昇也, 小路 真史, 土屋 史紀, 熊本 篤志, 松岡 彩子, 篠原 育	R005-25 Study of oscillations of atmospheric electric field during snowfall at Chiba, Japan, using W- and X-band cloud radars *大矢 浩代, 中森 広太, 鴨川 仁, 鈴木 智幸, 鷹野 敏明, 諸富 和臣	R007-12 地球バウショックにおけるコヒーレントなホイッスラーモード波動の解析: MMS衛星による複数衛星観測 *梅垣 千賀, 天野 孝伸, 北村 成寿
12:15	R006-47 Rapid Precipitation of Relativistic Electrons caused by EMIC Rising-tones *中村 紗都子, 大村 善治 (12:30 - 13:45 昼休み)	R005-26 北西太平洋域雷検出網で観測された雷活動と2018年の台風の強度発達との関係 *佐藤 光輝, 高橋 幸弘, 久保田 尚之, 山下 幸三, 濱田 純一, Marciano Joel (12:30 終了)	(12:15 終了)

座長：中村 紗都子（京大生存研）
銭谷 誠司（神戸大学）

- 13 : 45 R006-48 内部磁気圏におけるホイッスラーモード・
コーラス波動の非線形成長領域：
電磁流体-移流シミュレーション
*海老原 祐輔, 池田 拓也, 大村 善治, 田中 高史,
フォック メイチン
- 14 : 00 R006-49 Strong diffusion of energetic electrons by chorus
waves in the dawnside magnetosphere
*笠原 慧, 三好 由純, 横田 勝一郎, 笠原 禎也,
松田 昇也, 松岡 彩子, 桂華 邦裕, 堀 智昭,
栗田 怜, 篠原 育
- 14 : 15 R006-50 Dynamics of relativistic electrons interacting
with whistler mode chorus emissions in the outer
radiation belt
*謝 怡凱, 大村 善治
- 14 : 30 R006-51 Effects of convection electric field on nonlinear
drift resonance between electrons and Ultralow
frequency waves
*LI LI, 大村 善治
- 14 : 45 R006-52 Correlations of low-energy electrons with chorus
emissions observed by ERG : An event study
*風間 洋一, 小嶋 浩嗣, 三好 由純, 笠原 禎也,
白井 英之, 篠原 育, Wang B.-J., Wang S.-Y.,
Tam Sunny W. Y., Chang Tzu-Fang, 浅村 和史,
熊本 篤志, 土屋 史紀, 笠羽 康正, 松田 昇也,
小路 真史, 松岡 彩子, 寺本 万里子, 高島 健
- 15 : 00 R006-53 畳み込みニューラルネットワークによる
Arase/PWEの観測に基づいた自動電子密度推定
*松田 昇也, 長谷川 達人, 熊本 篤志, 土屋 史紀,
笠原 禎也, 三好 由純, 笠羽 康正, 松岡 彩子,
篠原 育
- 15 : 15 R006-54 コロナホール流に伴う放射線帯外帯電子の
発達：あらせ観測
*三好 由純, 栗田 怜, 片岡 龍峰, ジョルダノ ヴァ
ヴァニア, 東尾 奈々, 高島 健, 篠原 育,
寺本 万里子, 三谷 烈史, 堀 智昭, Park Inchun,
松岡 彩子, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 桂華 邦裕,
笠原 禎也, 松田 昇也, 土屋 史紀, 熊本 篤志,
小路 真史

(15:30 終了)

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：熊本市国際交流会館

ポスターセッション1
10月23日(水) 第1日目
(14:00-17:00)

[R006 磁気圏]

- R006-P01 超小型探査機搭載の極端紫外撮像機 (PHOENIX)によるプラズマ圏の光学観測
*吉岡 和夫, 桑原 正輝, 疋田 伶奈, 吉川 一朗
- R006-P02 惑星間空間磁場北向き時に現れる極冠分岐 (交換セル構造)の磁気流体モデリング
*渡辺 正和, 田中 高史, 藤田 茂
- R006-P03 微小北向き惑星間空間磁場下における磁気圏カスプ形成過程
*橋本 翼, 渡辺 正和, 片岡 龍峰, 藤田 茂, 田中 高史
- R006-P04 シューティング法を用いた交換型リコネクションの磁場トポロジー解析
*坂井 佑真, 渡辺 正和, 蔡 東生, 藤田 茂, 田中 高史
- R006-P05 カスプの高速プラズマフロー時に見られる電子降下の時間空間発展
*長房 勇之介, 田口 聡, 小川 泰信, 細川 敬祐
- R006-P06 惑星間空間磁場斜め北向き時に現れる夜側電離圏対流系の起源
*吉本 友紀, 渡辺 正和, 田中 高史, 藤田 茂
- R006-P07 Slow-moving faint aurora in the dayside polar cap for southward IMF
*高須 浩平, 田口 聡, 細川 敬祐
- R006-P08 SCに伴うオーロラのシミュレーション研究
*藤田 茂, 田中 高史
- R006-P09 低高度衛星の紫外線観測を用いたオーロラオーバル赤道側境界の統計解析
*京 サリ, 細川 敬祐, 南條 壮汰, 川合 悠生

- R006-P10 日本子午面上のプラズマ密度分布
*糸山 隆仁, 河野 英昭, 魚住 禎司, 阿部 修司, 吉川 顕正, MAGDAS/CPMNグループ 吉川 顕正
- R006-P11 サブストームに伴う磁気擾乱の子午面内伝播: 地上衛星多点観測
*今城 峻, 能勢 正仁, 相田 真里, 東尾 奈々, 松本 晴久, 古賀 清一, 吉川 顕正
- R006-P12 Automatic identification of FLR events in the SuperDARN VLOS data by using the Gradient methods
*河野 英昭, 行松 彰, 西谷 望, 田中 良昌, 才田 聡子, 堀 智昭, Lester Mark
- R006-P13 One-to-one correspondence between the vertical evolution of AKR and global high-correlation Pi 2: ARASE and MAGDAS observations
*魚住 禎司, 吉川 顕正, Ohtani Shinichi, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 笠原 禎也
- R006-P14 あらせ衛星が観測したプラズマ圏内外の Pi2 地磁気脈動
*寺本 万里子, 松岡 彩子, 笠原 禎也, 笠羽 康正, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 松田 昇也, 能勢 正仁, 野村 麗子, 栗田 怜, 小路 真史, 今城 峻, 三好 由純, 篠原 育
- R006-P15 Arase observation of the source region of auroral arcs and diffuse auroras in the inner magnetosphere
*塩川 和夫, 能勢 正仁, 今城 峻, 田中 良昌, 三好 由純, 細川 敬祐, Connors Martin, Engebretson Mark, 風間 洋一, Wang S.-Y., Tam Sunny W. Y., Chang Tzu-Fang, Wang B.-J., 浅村 和史, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 堀 智昭, 桂華 邦裕, 笠羽 康正, 小路 真史, 笠原 禎也, 松岡 彩子, 篠原 育
- R006-P16 Estimation of the altitude of pulsating aurora emission by using five-wavelength photometer
*川村 勇貴, 細川 敬祐, 野澤 悟徳, 小川 泰信, 川端 哲也, 藤井 良一

- R006-P17 Computer simulations of pitch angle scattering process for pulsating aurora
*伊藤 義起, 齊藤 慎司, 三好 由純
- R006-P18 Statistical study of EMIC wave-related electron precipitation at subauroral latitude
*平井 あすか, 土屋 史紀, 小原 隆博, 笠羽 康正, 加藤 雄人, 三澤 浩昭, 塩川 和夫, 三好 由純, 栗田 怜, Connors Martin
- R006-P19 Direct detection of nonlinear generation process of electromagnetic ion cyclotron emissions observed by the Arase spacecraft
*小路 真史, 三好 由純, Kistler Lynn M., 浅村 和史, 笠羽 康正, 松田 昇也, 笠原 禎也, 松岡 彩子, 寺本 万里子, 高島 健, 篠原 育
- R006-P20 木星磁気圏での相対論的プロトンとEMIC波の相互作用に関するテスト粒子シミュレーション
*関根 友博, 大村 善治, Summers Danny, 謝 怡凱, 中村 紗都子
- R006-P21 Arase observation of electron pitch angle scattering by Electrostatic Cyclotron Harmonic waves
*栗田 怜, 三好 由純, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 笠原 禎也, 松田 昇也, 松岡 彩子, 堀 智昭, 桂華 邦裕, 篠原 育
- R006-P22 一次元、二次元および三次元磁場におけるホイッスラーモードコーラス波によって加速される高エネルギー電子のダイナミクス
*高橋 溪太, 大村 善治, 謝 怡凱, 中村 紗都子, Summers Danny
- R006-P23 Pc4-5帯ULF波動とのドリフト共鳴による高エネルギー電子の変動とコーラス放射の強度変調について
*大野 敦裕, 加藤 雄人, 寺本 万里子, 熊本 篤志, 土屋 史紀, 笠原 禎也, 松田 昇也, 松岡 彩子, 三谷 烈史, 堀 智昭, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 桂華 邦裕, 三好 由純, 篠原 育

<p>R006-P24 磁気圏シース領域の磁場極小におけるホイッスラーモード波動の空間スケール *北村 成寿, 天野 孝伸, 大村 善治, 中村 紗都子, Boardsen Scott, Ahmadi Narges, Le Contel Olivier, Ergun Robert E., Lindqvist Per-Arne, 齋藤 義文, 横田 勝一郎, Gershman Daniel J., Giles Barbara L., Paterson William R., Moore Thomas E., Pollock Craig J., Russell Christopher, Strangeway Robert J., Burch James L.</p>	<p>R006-P29 あらせ衛星によって観測された孤立静電ポテンシャル構造 *滝 朋恵, 小嶋 浩嗣, 風間 洋一, 笠原 禎也, 三好 由純, 篠原 育, 白井 英之, 松田 昇也, Wang S.-Y., Tam Sunny W. Y., 松岡 彩子</p>	<p>R006-P37 Development of ASIC-based fluxgate magnetometer (AFG) and its flight proof on RockSat-XN sounding rocket *野村 麗子, 浅村 和史, 松岡 彩子, 池田 博一, 小嶋 浩嗣, 寺本 万里子, 平原 聖文, 三好 由純, 細川 敬祐</p>
<p>R006-P25 MeV electrons observed at the plasma sheet boundary in the inner magnetosphere *篠原 育, 長井 嗣信, 三谷 烈史, 東尾 奈々, 笠原 慧, 風間 洋一, Wang Shiang-Yu, Tam Sunny W. Y., 松岡 彩子, 浅村 和史, 横田 勝一郎, 高島 健, 三好 由純</p>	<p>R006-P30 衛星帯電緩和ビームによるプローブ電場計測干渉に関する粒子シミュレーション *岡崎 ほか, 三宅 洋平, 白井 英之</p> <p>Cancel Energy calibrations between the HEP and the XEP onboard Arase using Geant4 and comparing with the SEDA-e onboard the HIMAWARI *高島 健, 三谷 烈史, 東尾 奈々, 長妻 努</p>	<p>R006-P38 FACTORS搭載可視・紫外カメラならびにオーロラロケットLAMP可視カメラによる微細-広域オーロラダイナミクス *坂野井 健, 八木 直志, 平原 聖文, 浅村 和史, 三好 由純, 大山 伸一郎, 津田 卓雄, 齋藤 義文, 細川 敬祐, 渡邊 智彦, 山内 正敏, Park Inchun, 小嶋 浩嗣, 北村 成寿, 松岡 彩子</p>
<p>R006-P26 Electric current evolution associated with the magnetic dipolarization observed by Arase (ERG) in the inner magnetosphere *松岡 彩子, 能勢 正仁, 三好 由純, 寺本 万里子, 野村 麗子, 藤本 晶子, 田中 良昌, 篠原 学, 栗田 怜, 篠原 育, 風間 洋一, Wang Shiang-Yu, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 三谷 烈史</p>	<p>R006-P32 Validation of High-energy electron detector simulator for the HEP instruments onboard Arase *三谷 烈史, Park Inchun, 堀 智昭, 滑川 拓, 浅村 和史, 高島 健, 笠原 慧, 栗田 怜, 寺本 万里子, 東尾 奈々, 三好 由純, 篠原 育</p>	<p>R006-P39 観測機器パッケージPARM-HEPによる脈動オーロラ現象に伴う高エネルギー降り込み電子の観測 *滑川 拓, 三谷 烈史, 浅村 和史, 三好 由純, 細川 敬祐, 小川 泰信, 齋藤 義文</p>
<p>R006-P27 Longitudinal Structure of Oxygen Torus and Its Coincidence with EMIC Wave in the Inner Magnetosphere *能勢 正仁, 松岡 彩子, 熊本 篤志, 笠原 禎也, 寺本 万里子, 栗田 怜, Goldstein Jerry, Kistler Lynn, 今城 峻, 生松 聡, 山本 和弘, 尾花 由紀, 篠原 育, 三好 由純, Kurth William S., Kletzing Craig A., Smith Charles W., Macdowall Robert J., スペンス ハラン, リープス ジェフ</p>	<p>R006-P33 Inter-channel calibration of the high-energy electron experiments (HEP) instrument onboard the Arase satellite *堀 智昭, 三谷 烈史, 高島 健, Park Inchun, 栗田 怜, 寺本 万里子, 東尾 奈々, 笠原 慧, 横田 勝一郎, 三好 由純, 篠原 育</p>	<p>R006-P40 地球磁気圏X線可視化計画GEO-Xの現状 *江副 祐一郎, 三好 由純, 笠原 慧, 船瀬 龍, 石川 久美, 山崎 敦, 長谷川 洋, 木村 智樹, 松本 洋介, 藤本 正樹, 上野 宗孝, 川勝 康弘, 岩田 隆浩</p>
<p>R006-P28 Extremely collimated electron beams observed by the ERG satellite *風間 洋一, 三好 由純, 小嶋 浩嗣, 笠原 禎也, 篠原 育, 白井 英之, Wang B.-J., Wang S.-Y., Tam Sunny W. Y., Chang Tzu-Fang, 浅村 和史, 松田 昇也, 小路 真史, 松岡 彩子, 寺本 万里子, 高島 健</p>	<p>R006-P34 あらせ衛星で取得した波形観測データのゲインと位相の較正法 *西澤 宏幸, 笠原 禎也, 松田 昇也, 小嶋 浩嗣, 三木 淳平, 土屋 史紀, 熊本 篤志, 松岡 彩子, 後藤 由貴</p>	<p>R006-P41 Feasibility of Geomagnetic Observation by 2U-size CubeSat *北村 健太郎, 今井 一雅, 高田 拓, 篠原 学, 若林 誠, 徳光 政弘, 高専スペース連携 今井一雅</p>
	<p>R006-P35 あらせ衛星で観測されたコーラス波動の自動検出手法の検討 *黒瀬 渉太, 笠原 禎也, 松田 昇也, 後藤 由貴</p>	<p>R006-P42 MIセンサを用いた地磁気微小変動のテスト観測 *中村 拓真, 能勢 正仁, 阿部 修司, 魚住 禎司, 吉川 顕正, 青山 均, 河野 剛健, 北村 健太郎</p>
	<p>R006-P36 あらせ衛星搭載のPWE/WFCによって計測した波形データの較正手法の評価 *北原 理弘, 松田 昇也, 加藤 雄人, 笠原 禎也, 小嶋 浩嗣, 疋島 充</p>	<p>R006-P43 CubeSat用磁気センサの伸展機構の機械特性が磁気計測に与える影響 *石田 篤弘, 北村 健太郎, 藤本 浩</p>
		<p>R006-P44 低高度電離層電流計測用CubeSatのミッション系の検討 *藤原 汰智, 北村 健太郎, 高田 拓, 篠原 学</p>
		<p>R006-P45 Antarctic large area network observation of auroral phenomena using unmanned system (3) *門倉 昭, 山岸 久雄, 岡田 雅樹, 小川 泰信, 田中 良昌, 片岡 龍峰, 内田 ヘルベルト陽仁, 大塚 雄一, 佐藤 夏雄</p>

ポスターセッション2
10月24日(木) 第2日目
(14:00-17:00)

[R005 大気圏・電離圏]

R005-P01 SuperDARN近距離エコーの再評価(2)

*行松 彰

R005-P02 Ion temperature and velocity variations in the D- and E-region polar ionosphere during stratospheric sudden warming

*小川 泰信, 野澤 悟徳, 堤 雅基, 富川 喜弘,
Hall Chris, Haggstrom Ingemar

R005-P03 南極昭和基地 PANSY レーダーによる電離圏沿
磁力線不規則構造のイメージング観測

*香川 大輔, 橋本 大志, 齊藤 昭則, 西村 耕司,
堤 雅基, 佐藤 亨, 佐藤 薫

R005-P04 近赤外波長における北欧2地点光学観測:
昼側へのオーロラ・大気光観測の拡張

*西山 尚典, 鍵谷 将人, 小川 泰信, 坂野 井 健, 田口 真

R005-P05 ノルウェーのトロムソで観測された脈動オーロ
ラ発光の波長特性

*李 成宇, 津田 卓雄, 細川 敬祐, 野澤 悟徳, 川端 哲也,
水野 亮, 大山 伸一郎, 栗原 純一

R005-P06 Characteristics of the ionospheric variations in the
dayside polar region

*藤原 均, 野澤 悟徳, 小川 泰信, 三好 勉信, 陣 英克,
品川 裕之, 埜 千尋

R005-P07 長期計算に向けたGAIA極域入力の改良

*埜 千尋, 陣 英克, 品川 裕之, 三好 勉信, 藤原 均

R005-P08 GAIAモデルを用いた、二酸化炭素増加による
F2ピークの変動

*阿部 宇宙, Liu Huixin, 埜 千尋

R005-P09 Utilizing 4D-var technique to image South African
regional ionosphere

*Ssessanga Nicholas, Kim Yong Ha, 山本 衛,
Habarulema John Bosco

R005-P10 Calculation of the ray paths and propagation times of
HF radio waves using the simulator of HF-START project.

*中尾 亮, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
Hozumi Kornyanat, 津川 卓也, 斎藤 亨, 石井 守

R005-P11 イオノゾンの受信アレイを用いた電離圏
エコー到来方向の推定

*西岡 未知, 前野 英生, 近藤 巧, 津川 卓也

R005-P12 イオノグラムから電子密度分布のfull wave計算
による推定手法

*深見 哲男, 長野 勇, 東 亮一

R005-P13 機械学習を用いたイオノグラムにおける
スプレッドF自動検出

*清水 淳史, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明

R005-P14 Xilinx社ZYNQ-7000 SoCを用いたFMCW
イオノゾンデ・プロトタイプの開発

*石橋 弘光, 近藤 巧, 津川 卓也, 石井 守

R005-P15 Statistical study of the growth rates of Medium-Scale
TID observed with GPS-TEC

*池田 孝文, 齊藤 昭則, 津川 卓也, 品川 裕之

R005-P16 GNSS受信機によって観測された全電子数の
緯度変化

*大塚 雄一, 新堀 淳樹, 津川 卓也, 西岡 未知

R005-P17 桜島噴火の規模とGPS-TEC変動との相関

*庄子 聖人, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
津川 卓也, 西岡 未知

R005-P18 HFドップラー観測によるH-IIAロケット打ち上
げに伴う電離圏変動の解析

*山崎 淳平, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
細川 敬祐

R005-P19 H-IIAロケットにより生じた電離圏TEC変動解析

*武川 毅, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
津川 卓也, 西岡 未知

R005-P20 LF帯標準電波観測とGPS-TECによるTID同時
観測

町 康二郎, *中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
津川 卓也, 西岡 未知

R005-P21 HFドップラー及び地震計を用いた地震に伴う
電離圏擾乱の解析

*大野 夏樹, 中田 裕之, 大矢 浩代, 鷹野 敏明,
細川 敬祐, 津川 卓也, 西岡 未知

R005-P22 S-310-44号機観測ロケットによって観測された
Sq電流系付近のDC電場の解析

*森 俊樹, 石坂 圭吾, 阿部 琢美, 熊本 篤志, 田中 真

R005-P23 S-520-27号ロケットより放出されたTMAの
観測画像を用いた熱圏下部中性風プロファイルの解析
と評価

*大塚 祐樹, 山本 真行

R005-P24 Solar X-ray effects on the D-region ionosphere using
tweek atmospherics

*山野辺 晃大, 大矢 浩代, 中田 裕之, 鷹野 敏明,
塩川 和夫

R005-P25 Sub-ionospheric effects of volcano eruptions using
VLF/LF standard radio waves

*丸山 慶, 大矢 浩代, 土屋 史紀, 野崎 憲朗,
山下 幸三, 高橋 幸弘, 中田 裕之, 鷹野 敏明

R005-P26 Improvement of estimation method for propagation
distance of tweek atmospherics

*菅野 将史, 大矢 浩代, 塩川 和夫, 中田 裕之,
鷹野 敏明

R005-P27 Diminished occurrence of afternoon counter
electrojet in certain longitude sectors and seasons

*Singh Dupinder, Liu Huixin

R005-P28 TBEx衛星・COSMIC-2衛星からの2周波ビーコ
ン波による低緯度電離圏観測手法の開発

*氏原 伸裕, 山本 衛

- R005-P29 Current status of the project to investigate ionospheric effects on GNSS in Southeast Asia
*津川 卓也, Hozumi Kornyanat, Jamjareegulgarn Punyawit, Supnithi Pornchai, 齋藤 享, 大塚 雄一, 浜 真一, 直井 隆浩, 石井 守
- R005-P30 Comparison of plasma bubble drift velocity observed by ground GPS and those simulated by GAIA model
*高橋 大登, Liu Huixin, 大塚 雄一, 品川 裕之
- R005-P31 プラズマバブル監視用地上設置型リアルタイム全天観測システムの開発
*直井 隆浩, 坂口 歌織, 小川 泰信, 久保 勇樹
- R005-P32 ハワイの大気光画像中に見られる中間圏・電離圏波動の水平位相速度・パワースペクトル密度分布の統計解析及びイベント解析
*内藤 豪人, 塩川 和夫, 大塚 雄一, 坂野井 健, 齊藤 昭則, 中村 卓司
- R005-P33 ISS-IMAP/VISI観測による中間圏大気重力波の変動とプラズマバブル発生との関係性について
*岡田 凌太, 齊藤 昭則, 池田 孝文, 品川 裕之, 津川 卓也, 坂野井 健
- R005-P34 静止軌道衛星ひまわり8号可視バンドによる極中間圏雲の観測
*穂積 裕太, 津田 卓雄, 安藤 芳晃, 細川 敬祐, 鈴木 秀彦, 中村 卓司, 村田 健史
- R005-P35 ISS-IMAP/VISIで観測された中間圏擾乱構造の水平空間スケール依存性
*齊藤 昭則, 穂積 裕太, 坂野井 健, 岡田 凌太
- R005-P36 Mesospheric temperature derivation using ISS-IMAP VISI data
*村上 涼, 齊藤 昭則, 坂野井 健, 穂積 裕太
- R005-P37 大気光イメージ観測による関東平野上空の山岳波動の研究: 卓越波長とその伝搬特性の検証
*石井 智士, 鈴木 秀彦
- R005-P38 ラグランジュ型化学輸送モデルによる中間圏大気組成の短期変動機構の研究
*中西 慎吾, 長濱 智生, 水野 亮, 中島 拓

- R005-P39 小スケール大気重力波に伴う温度・風速変動の観測的評価
*鈴木 臣, 野澤 悟徳
- R005-P40 中間圏・下部熱圏における季節内振動と成層圏準2年周期振動及び成層圏半年振動との相関
*秋山 瑞樹, 三好 勉信
- R005-P41 気象再解析データERA5における南極域での大気重力波再現性
*吉田 理人, 江尻 省, 富川 喜弘
- R005-P42 Geomagnetic activity-related Na layer and CNA variations observed over Syowa, Antarctic
*津田 卓雄, 川原 琢也, 田中 良昌, 江尻 省, 西山 尚典, 中村 卓司
- R005-P43 Naライダーで観測される鉛直風オフセットに関するライダーシステムからの考察
*川原 琢也, 野澤 悟徳, 齋藤 徳人, 津田 卓雄, 和田 智之, 川端 哲也
- R005-P44 火山性成層圏エアロゾルをトレーサとした赤道域における物質の水平並びに鉛直輸送の観測
*阿保 真, 柴田 泰邦, 長澤 親生

[R009 惑星圏・小天体]

- R009-P01 Development of prediction system of Mercury's magnetosphere for any solar wind parameter
*八木 学, 関 華奈子, 松本 洋介, Delcourt Dominique, Leblanc Francois
- R009-P02 SHOTS simulations of Mercury's magnetosphere for the BepiColombo mission
*白井 英之, 相澤 紗絵, 八木 学, 村上 豪, BepiColombo SHOTSシミュレーションチーム 白井 英之
- R009-P03 太陽系天体の宇宙風化再現実験に向けた汎用プラズマ照射装置の開発
*木村 智樹, 木村 淳, 吉岡 和夫, 村上 豪, 寺田 直樹, 白井 英之, 西野 真木, 横田 勝一郎, 三宅 洋平

- R009-P04 電子反射法を用いた太陽風中での月面磁場強度推定
*川口 友暉, 原田 裕己, 齋藤 義文, 横田 勝一郎, 西野 真木, 白井 英之, 三宅 洋平, 高橋 太, 清水 久芳
- R009-P05 月超低高度における磁気異常近傍プラズマの観測
*齋藤 義文, 西野 真木, 横田 勝一郎, 高橋 太, 清水 久芳
- R009-P06 月極域探査ローバー搭載用飛行時間計測型質量分析器の開発
*福山 代智, 齋藤 義文, 横田 勝一郎, 浅村 和史
- R009-P07 Elastic collisions between magnetospheric electrons and neutral H2O molecules in the Enceladus torus by test particle simulation
*田所 裕康, 加藤 雄人
- R009-P08 Design of an ion mass spectrometer for the Comet Interceptor mission
*笠原 慧, 横田 勝一郎, 齋藤 義文, 浅村 和史, 平原 聖文, 松岡 彩子
- R009-P09 小天体大気の水素・重水素遠隔観測に向けた吸収セルのフィラメント開発
*米本 周平, 田口 真, 吉岡 和夫, 川原 琢也, 亀田 真吾, 桑原 正輝
- R009-P10 超小型極端紫外撮像装置に用いる電子回路部の放射線耐性評価
*勝瀬 陸, 吉岡 和夫, 桑原 正輝, 疋田 伶奈, 吉川 一朗
- R009-P11 Proton-oxygen differences in energy spectral evolution during large-scale injections in Saturn's magnetosphere
*桂華 邦裕, Brandt Pontus, Mitchell Donald, 堺 正太郎
- R009-P12 ALMA アーカイブデータ解析による木星衛星イオの二酸化硫黄大気火山噴火成分の検出
*古賀 亮一, 鈴木 達也, 平原 靖大, 土屋 史紀, 鍵谷 将人, 坂野井 健

R009-P13 イオプラズマトーラスの突発増光現象におけるエネルギー供給過程の特定
*西村 晟八, 鈴木 文晴, 吉岡 和夫, 疋田 伶奈, 村上 豪, 土屋 史紀, 木村 智樹, 吉川 一郎

R009-P14 ひさき衛星観測との比較を目指した木星内部磁気圏プラズマの動径方向拡散モデルの開発
*山口 和輝, 坂野井 健, 土屋 史紀, 木村 智樹, 古賀 亮一, 鍵谷 将人

R009-P15 アルマを用いた木星放射線帯変動メカニズムの解明に向けて
*北元 佐川 英夫, 埜 千尋, 黒田 剛史, 土屋 史紀, 三澤 浩昭, 笠羽 康正, 藤本 正樹

R009-P16 木星放射線帯と磁気圏尾部再結合現象との関連性の探査 - II
*三澤 浩昭, 北元 佐川 英夫, 土屋 史紀

R009-P17 木星氷衛星探査衛星JUICE, 日本からの貢献ープロジェクトの概況、現状、そして展望
*笠羽 康正, 関根 康人, 塩谷 圭吾, 浅村 和史, 笠井 康子, 春山 純一, 松岡 彩子

R009-P18 Development of a low-energy energetic neutral atom analyzer (PEP/JNA) for JUICE mission
*浅村 和史, 齋藤 義文, 下山 学, 二穴 喜文, 三好 由純

R009-P19 Development of KOSEN-1 CubeSat for Jupiter's decametric radio observation
*今井 一雅, 平社 信人, 高田 拓, 北村 健太郎, 今井 雅文, KOSEN-1 Team 今井 一雅, Higgins Charles A., Thieman James R., NASA Radio JOVE Team 今井 一雅

R009-P20 Effects of the IMF direction on ion escape mechanism under a weak intrinsic magnetic field condition at Mars
*堺 正太郎, 関 華奈子, 寺田 直樹, 品川 裕之, 坂田 遼弥, 田中 高史, 海老原 祐輔

R009-P21 Atmospheric compositions in the ionosphere/thermosphere on Mars observed by NGIMS and IUVS on MAVEN
*吉田 奈央, 寺田 直樹, 中川 広務

R009-P22 Development of the hydrogen absorption cell imager for observation of planetary coronas
*桑原 正輝, 田口 真, 吉岡 和夫, 川原 琢也, 亀田 真吾, 米本 周平

R009-P23 中間赤外ヘテロダイン分光観測から得られた火星中間圏での2018年全球ダストストームによる東西風加速
*宮本 明歩, 中川 広務, 高見 康介, 黒田 剛史, 村田 功, 寺田 直樹, 吉田 奈央, 鳥海 克成, 笠羽 康正, 青木 翔平

R009-P24 火星探査機MRO搭載熱赤外センサMCSで観測された気温と水氷雲の正相関
*上田 真由, 野口 克行, 林 寛生

R009-P25 火星古気候の大気・水圏結合モデリング: Valley network再現に向けて
*黒田 剛史, 鎌田 有紘, 鳥海 克成, 笠羽 康正, 寺田 直樹, 中川 広務

R009-P26 Structures of planetary-scale waves at Venusian cloud top revealed by a cloud-tracking method tolerant to streaky features
*奈良 佑亮, 今村 剛

R009-P27 金星の衛星間電波遮蔽観測立案に向けたデータ同化による研究
*杉本 憲彦

R009-P28 Comparative analysis of the the Rossby wave at the Venusian cloud top observed by Venus Express/VMC and Akatsuki/UVI
*今井 正亮, 神山 徹, 堀之内 武, 渡部 重十, 山崎 敦, 山田 学, 村上 真也

R009-P29 A circumpolar stratospheric telescope FUJIN-2 aiming at identification of a UV absorber in the Venus atmosphere
*白藤 祐稀子, 田口 真, 今井 正亮, 高橋 幸弘, 佐藤 光輝, 中野 壽彦, 荘司 泰弘

R009-P30 High-resolution spectroscopy of Venus' dayside at 3-4 micron with IRTF/iSHELL
*佐藤 隆雄, 佐川 英夫

R009-P31 あかつき/IR1が捉える金星雲全球変動
*高木 聖子

R009-P32 ハワイ IRTF/iSHELL 赤外分光データによる木星大赤斑上空を含む熱圏温度観測
*神原 歩, 北元 佐川 英夫, 坂野井 健, 笠羽 康正, 鍵谷 将人

R009-P33 High dynamic-range observation using a low-scattered light telescope PLANETS: design and feasibility study
*鍵谷 将人, 坂野井 健, 鈴木 駿久, 平原 靖大, 笠羽 康正

R009-P34 惑星大気観測のためのPLANETS望遠鏡の主鏡支持機構の開発状況
*鈴木 駿久, 鍵谷 将人, 坂野井 健, 笠羽 康正, 平原 靖大

[R010 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合]

R010-P01 分野融合型科学創出のための試行プロジェクト AMIDER
*梅村 宜生, 田中 良昌, 阿部 修司, 中野 慎也, 新堀 淳樹

R010-P02 Recent activity and future perspective of IUGONET project based on international research collaboration
*田中 良昌, 梅村 宜生, 阿部 修司, 新堀 淳樹, 上野 悟

R010-P03 情報通信研究機構太陽観測データベース
*久保 勇樹, 石橋 弘光, 直井 隆浩

R010-P04 Development of cross-reference framework for macro- and micro-scale simulations of the magnetosphere
*深沢 圭一郎, 加藤 雄人, 南里 豪志, 三宅 洋平

R010-P05 Real-time magnetosphere simulator for space weather using REProduce Plasma Universe code
*久保田 康文, 中溝 葵, 坂口 歌織, 田 光江, 久保 勇樹, 長妻 努, 田中 高史

- R010-P06 Short-Term Variations of Proton Flux in South Atlantic Anomaly due to Solar Storm Conditions
*M. GIRGIS KIROLOSSE, 羽田 亨, 松清 修一
- R010-P07 Data-driven model for the dynamics of the outer radiation belt in inner magnetosphere
*齊藤 慎司, 坂口 歌織, 陣 英克, 埜 千尋, 久保 勇樹, 石井 守
- R010-P08 MAGDAS9システムの10Hzデータを用いた, Pc2脈動の全球的な発生特性解明
*樺澤 大生, 吉川 顕正, 魚住 禎司, 藤本 晶子, 阿部 修司
- R010-P09 全球GNSS-TEC観測データベースを用いた磁気嵐時の電離圏擾乱に関する研究
*新堀 淳樹, 大塚 雄一, 惣宇利 卓弥, 津川 卓也, 西岡 未知
- R010-P10 Night-E layer appearance throughout the over Japanese archipelago during severe geomagnetic storm in March 1989
*坂口 歌織, 塩田 大幸, 丸橋 克英, 丸山 隆
- R010-P11 大気圏-電離圏結合モデルGAIA新バージョンの開発と性能評価
*陣 英克, 三好 勉信, 埜 千尋, 品川 裕之, 藤原 均
- R010-P12 Comparison of FM-CW Ionosonde and MAGDAS observations with S4 index in Peru
*藤本 晶子, 阿部 修司, 池田 昭大, 吉川 顕正
- R010-P13 Development of prediction model of Japanese GIC
*中村 紗都子, 海老原 祐輔, 後藤 忠徳, 藤田 茂, 亘 慎一

ポスターセッション3
10月25日(金) 第3日目
(09:30-12:30)

[R003 地球・惑星内部電磁気学
(電気伝導度、地殻活動電磁気学)]

- R003-P01 地磁気・地電流データに含まれる電磁場コヒーレントノイズの除去に関する数値実験
*小川 大輝, 浅森 浩一, 濱 友紀
- R003-P02 独立性及び複帯域性に基づいた自然電磁場データからのノイズ除去の試み
*佐藤 真也, 後藤 忠徳
- R003-P03 阿蘇火山中央火口丘の磁化構造について
*宇津木 充
- R003-P04 霧島硫黄山におけるドローン空中磁気測量
*小山 崇夫, 金子 隆之, 大湊 隆雄, 渡邊 篤志, 本多 嘉明
- R003-P05 3-D multiphase flow modeling: a method to constrain electrical conductivity structure of volcanoes
*Gresse Marceau, 小山 崇夫, 上嶋 誠, 石戸 恒雄, 森田 裕一, 笹井 洋一, Zlotnicki Jacques, 長谷 英彰, 神田 径, 松永 康生, 相澤 広記, 上田 英樹, Rung-Arunwan Tawat, 畑 真紀, 山谷 祐介
- R003-P06 メッシュ状に配置したNetwork-MTデータによる阿蘇カルデラと雲仙火山の地下の3次元比抵抗分布
*畑 真紀, 上嶋 誠, 田中 良和, 橋本 武志, 吉村 令慧, 大志万 直人
- R003-P07 3-D resistivity modeling of Kusatsu-Shirane volcano, with revisited magnetotelluric data
*TSENG KUO HSUAN, 小川 康雄, Tank S. Bulent, 白井 嘉哉, 神田 径, 深井 雅斗

- R003-P08 3次元CSEM逆解析法による海底熱水鉱床イメージング

*石須 慶一, 後藤 忠徳, Siripunvaraporn Weerachai, 笠谷 貴史, 岩本 久則

- R003-P09 Elucidation of crustal fluid distribution in NE Japan backarc active zone by wideband MT observation

*深井 雅斗, 小川 康雄

- R003-P10 Does the tsunami-generated magnetic field arrive earlier than the sealevel change?

*林 智恒, 藤 浩明

[R004 地磁気・古地磁気・岩石磁気]

- R004-P01 磁性細菌Magnetospirillum magnetotacticum MS-1の磁気測定のための培養条件の検討
*政岡 浩平, 諸野 祐樹, 山本 裕二

- R004-P02 古第三系神戸層群の古地磁気方位: 予察的検討
*仙田 裕樹, 林田 明

- R004-P03 エチオピア巨大火成岩岩石区から推定される約3000万年前の古地磁気強度変動
*吉村 由多加, 山崎 俊嗣, 山本 裕二, Ahn Hyeon-Seon, Kidane Tesfaye, 乙藤 洋一郎, 石川 尚人

- R004-P05 考古岩石磁気学: 鉄鉱物の磁性から考古学に必要な情報を取り出す試み
*畠山 唯達, 北原 優, 中久保 辰夫, 高橋 照彦

- R004-P06 鉱物分析結果に基づく考古地磁気強度データの精査
*北原 優, 大野 正夫, 桑原 義博

- R004-P07 阿蘇火山・富士火山の火山岩による古地磁気強度変動の研究
*治田 有里紗, 望月 伸竜, 馬場 章, 渋谷 秀敏

- R004-P08 富士火山の火山噴出物から推定する過去2300年間の地磁気永年変化
*馬場 章, 渋谷 秀敏, 畠山 唯達

R004-P09 Data assimilation for prediction of geomagnetic secular variation

*中野 慎也, 南 拓人, 高橋 太, 松島 政貴, 清水 久芳, 藤 浩明

R004-P10 Analysis of magnetic secular acceleration in a numerical dynamo model

*高橋 太

R004-P11 東西磁場が印加された回転球面上の磁気流体浅水波の極トラップモード

*中島 涼輔, 吉田 茂生

R004-P12 惑星ダイナモにおける時間スケール

*桜庭 中

[R007 太陽圏]

R007-P01 ピックアップイオンを含む衝撃波の2次元構造

*松清 修一, 松本 洋介

R007-P02 4期間にわたる「ひさき」衛星による惑星間空間ヘリウム分布の光学観測

*山崎 敦, 村上 豪, 吉岡 和夫, 木村 智樹, 土屋 史紀, 鍵谷 将人, 坂野井 健, 寺田 直樹, 笠羽 康正, 吉川 一朗, ひさき (SPRINT-A) プロジェクトチーム
山崎 敦

[R008 宇宙プラズマ理論・シミュレーション]

R008-P01 Vlasov code simulation of contact discontinuities

*梅田 隆行, 辻根 成, 成行 泰裕

R008-P02 ULF wave modulation of the whistler-mode chorus generation in the inner magnetosphere

*加藤 雄人, Chen Lunjin

R008-P03 高速イオンによる低域混成波不安定性とその非線形発展に関する粒子シミュレーション

*小谷 翼, 樋田 美栄子, 森高 外征雄, 田口 聡

R008-P04 相対論的電子-イオンプラズマ中のシンクロトロンメーザー不安定性による電子加速

*江崎 陽大, 松清 修一, 羽田 亨

R008-P05 無衝突垂直衝撃波遷移層におけるイオンスケール不安定性の上流パラメータ依存性

*西貝 拓朗, 天野 孝伸

R008-P06 高強度レーザーを用いた衝撃波リフォーメーションの実証実験

*樋口 琢海, 松清 修一, 羽田 亨, 村上 洋大

R008-P07 高強度レーザーによる衝撃波リフォーメーション実証実験のための数値シミュレーション

*村上 洋大, 松清 修一, 羽田 亨

R008-P08 太陽風と火星起源イオンのフォボス表面への衝突の数値実験

*田邊 正樹, 寺田 直樹, 三宅 洋平, 白井 英之

R008-P09 宇宙エレベータとデブリとの衝突の数値シミュレーション

*梶田 大智, 羽田 亨, 松清 修一, 辻野 勇樹

R008-P10 非対称磁気リコネクションアウトフローの構造

*近藤 光志

R008-P11 Plasma dynamics and field evolution in large-scale magnetic reconnection

*中村 雅夫

R008-P12 畳み込みニューラルネットワーク (CNNs) を用いたショックレットの識別モデル開発

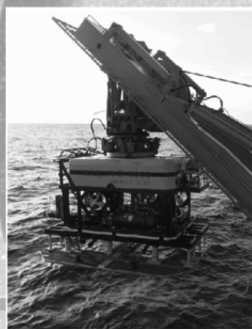
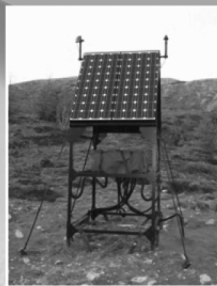
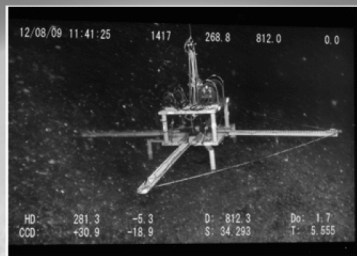
*田中 孝佳, 羽田 亨, 松清 修一

R008-P13 pyCANS+ コードの開発

*松本 洋介

総合電磁気計測テクノロジー

地球科学、宇宙科学、資源科学の発展に
 貢献するべく、最先端の技術を取り入れ、
 高度な電磁気計測装置の開発に
 日々取り組んでいます。



- 磁力計
 - フラックスゲート磁力計
 - プロトン磁力計
 - オーバーハウザー磁力計
 - ポタシウム磁力計
 - インダクション磁力計

- 地下電磁探査関連
 - TDEM測定器(送受信器)
 - 比抵抗測定器

- 海洋関連
 - 海底電位磁力計
 - 曳航式プロトン磁力計
 - 海底電磁探査装置

- 航空宇宙関連
 - 航空機用磁力計
 - 小型衛星 地磁気姿勢計
 - 太陽センサ
 - 磁気トルカ

- 磁気試験関連
 - スピナー磁力計
 - 磁気モーメント計測システム
 - 磁気シールド

- 遠隔監視システム関連
 - 無線LAN
 - 衛星携帯データ転送システム
 - 太陽電池システム

地球電磁気測定器メーカー 有限会社テラテクニカ

〒208-0022東京都武蔵村山市榎 3-25-1 TEL042-516-9762 FAX042-516-9763 <http://www.tierra.co.jp/>
 ※カナダGEM Systems社 日本代理店

この星に、たしかな未来を

— OUR TECHNOLOGIES, YOUR TOMORROW —

私たち三菱重工は、次の世代の暮らしと、そこにある幸福を想い、人々に感動を与えるような技術と、ものづくりへの情熱によって、たしかな未来を提供していくことを目指します。そのために私たちは、これまで培ってきた技術を磨くとともに、新たな発想で様々な技術を融合させるなど、さらなる価値提供を追求し、地球的な視野で人類の課題の解決と夢の実現に取り組みます。



三菱重工業株式会社 www.mhi.co.jp

〒108-8215 東京都港区港南2-16-5
Tel 03-6716-3111

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

Online Monograph

Open Access

Monographs on Environment, Earth and Planets (MEEP)

<http://www.terrapub.co.jp/onlinemonographs/meep>



無用の用と60年

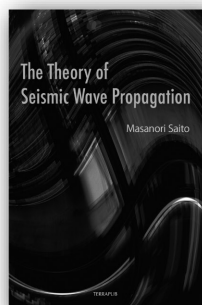
小嶋 稔 著

2,700 円 + 税

発売日：2016 年 11 月

B5 判, 上製, 62 頁

ISBN: 978-4-88704-168-4



The Theory of Seismic Wave Propagation

Masanori Saito

税込 25,000 円

発売日：2016 年 6 月

Hard cover, 474+x pp.

ISBN: 978-4-88704-167-7

上記以外の書籍につきましてはホームページをご覧ください。 <http://www.terrapub.co.jp/books/>

TERRAPUB 〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-27-5-804

URL: <http://www.terrapub.co.jp/books/>

【お問い合わせ】 Tel: 03-3718-7500 Fax: 03-3718-4406 E-mail: sales@terrapub.co.jp



地球電磁気学研究・地球惑星圏科学をサポートする、
高性能磁気測定機器を日本のお客様へご案内させていただきます。

海底電位差計用
銀-塩化銀電極
EL-1

【クローバテック製品】



フラックスゲート
磁力計



超伝導磁力計



2G Enterprises

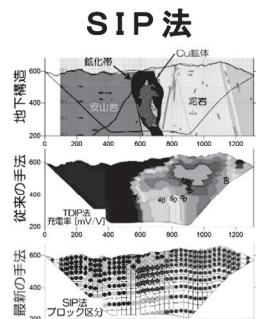
地球電磁気学研究と共に クローバテック株式会社

<http://www.clovertech.co.jp>

TEL0422-37-2477 FAX0422-37-2478



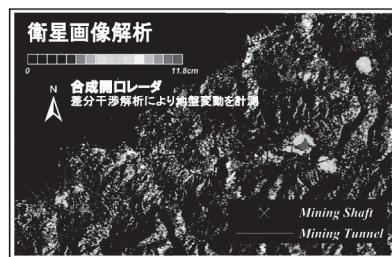
MT法 現場から解析まで長年のノウハウ
MT法電磁探査は、自然の電磁場信号を用いて行なう比抵抗探査手法です。他の比抵抗探査手法よりも探査深度が深く、地下数十kmまで探査が可能です。このため、地殻構造調査や地熱構造調査に多くの実績があります。また、測定周波数の高いAMT (Audio Frequency MT) 法探査を用いることにより、地下1km程度までの詳細な探査も可能で、トンネル掘削前の土木地質調査や断層調査への実績があります。測定システムは信頼性に優れ、騒音振動はありません。



SIP法
SIP法は、地下の周波数特性を調べる電気探査手法です。通常のTDIP法よりノイズ耐性が高く、得られるパラメータも多いことから、次世代の電気探査法として注目を集めています。含有物に依存する周波数特性を測定することで、今まで以上に詳細に岩種を区別することが可能になります。



ジオレーダ
ジオレーダはミリ波あるいはマイクロ波帯の電波を照射し、火山や地滑り斜面、鉱山切羽などで反射した成分を受信します。受信記録に差分干渉解析を適用することで、観測ターゲットの微小変位を常時モニタリングすることができます。レーダアンテナは水平及び垂直方向に回転する機構を備えていますので、面的なデータ集録が可能となります。



衛星画像解析
人工衛星に搭載された光学センサーやレーダセンサーは、数m程度の高い空間分解能で、数十～数百km四方の広範囲の地表情報を記録し、画像化します。リモートセンシングでは、衛星画像を解析することにより、地球上のあらゆる地域の情報を遠隔的に収集することが可能で、人工衛星が定期的に地球を周回しますので、地表状況の定期監視に応用できます。



空中電磁探査
効率的に高密度な比抵抗分布
空中物理探査は、固定翼機やヘリコプターを用いて行う物理探査手法です。空中から調査を行うため、地表からアクセスが困難な地区の情報を容易に得ることができ、1日に数100kmにおよぶデータを取得することが可能です。測定項目には、磁場強度、重力、放射能強度および電磁場強度があり、お客様のニーズに合わせた測定項目をご提案いたします。

日鉄鉱コンサルタント株式会社

ホームページ: <http://www.nmconsults.co.jp/>
E-mail: geophy@nmconsults.co.jp (物理探査部)
東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル 3F Tel:03-6414-2766 Fax:03-6414-2772

学会からのお知らせ

Earth, Planets and Space

Open Access for the Geosciences

Impact Factor (2018): 2.736, 5-year IF (2018): 2.507

特集号の提案

EPS では、特集号の提案を随時受け付けております。研究プロジェクトの最新の成果の発表の場としてご活用ください。詳しくは、以下をご参照ください。

<https://earth-planets-space.springeropen.com/proposals>

SGEPSS に関係の深い最新・投稿受付中の特集号

- [20th Anniversary Issue: Earth, Planetary, and Space Sciences in the Next Decade](#)
- [International Geomagnetic Reference Field - The Thirteenth Generation](#)
- [Characterization of the geomagnetic field and its dynamic environment using data from space-based magnetometers](#)
- [The 13th International Conference on Substorms](#)
- [Recent Advances in MST and EISCAT/Ionospheric Studies – Special Issue of the Joint MST15 and EISCAT18 Meetings, May 2017](#)
- [Recent Advances in Geo-, Paleo- and Rock-Magnetism](#)
- [Geospace Exploration by the ERG mission](#)
- [Studies on Electromagnetic Induction in the Earth: Recent advances](#)

賛助会員の募集

SGEPSSの事業は、賛助会員の皆様のサポートを受けております。賛助会員の皆様には、以下の広告サービスを行っておりますので、入会についてご検討ください。

- ✓ [学会 Web トップページ](#)でのロゴマーク掲載
- ✓ [賛助会員様一覧ページ](#)への情報掲載
- ✓ 定期刊行の会報における広告記事掲載

エディテージの英文校正サービス

ed!tage
by CACTUS

5領域20の専門チームが1,200以上の専門分野をカバー

100万稿以上の豊富な校正実績

10%割引クーポン

SGEPSS10

- 注文フォームのクーポン記入欄にクーポンコードをご入力ください。
- 本クーポンは1回に限り有効。※他のクーポンとの併用は不可。
- 有効期限は2022年3月31日(木)まで



英文校正・論文校閲サービス

ジャーナル投稿前の英語論文を国際出版レベルの英語に仕上げるアカデミック英文校正・英文添削サービス。専門分野の博士号・修士号または国際認定BELS取得校正者が高品質、低価格且つ業界最高レベルの納品スピードで原稿を出版に適した状態に校正します。

トップジャーナル英文校正



査読者経験がある研究分野のエキスパートとジャーナルの好みを理解したプレミアム英文校正の校正者が、研究内容まで踏み込み、投稿前に論文を総合評価。

料金(税抜) 25円/単語

プレミアム英文校正



論理構造に踏み込む段落毎の校正に365日間無料再校正付き。+6円/単語で再投稿あんしんパック(365日無料の査読コメント対策+再フォーマット調整)を附帯できます。

料金(税抜) 11円/単語~

スタンダード英文校正



当日納品可。原稿の文法、英語構文、語彙選択など英語面を徹底的にチェックするサービス。初回ご注文時に+2円/単語で365日無料再校正(1回)が適用。

料金(税抜) 5円/単語~

エディテージの英文校正サービス3つの特長

特徴1 ネイティブ校正者2名で対応

難関なテストをクリアした専門領域を持つネイティブ校正者のみを採用。校正後のダブルチェックも専門分野のネイティブ校正者が対応。

特徴2 1,200以上の専門分野に対応

1,200を超える対応分野から、お客様の研究分野の領域に最も合致した英文校正者を選定。専門性が高い英文校正を実現します。

特徴3 校正品質保証・満足保証

万が一、英語の品質が問題で受理されなかった場合や校正品質にご満足いただけない場合は、無料で何度でも再校正いたします。

エディテージ

ed!tage
by CACTUS



www.editage.jp

エディテージはカクタス・コミュニケーションズのサービスブランドです。

カクタス・コミュニケーションズ株式会社 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-4-1 TUG-I ビル 4F

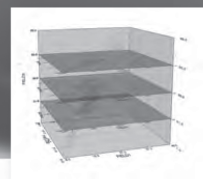
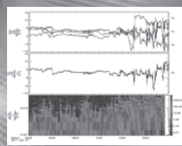
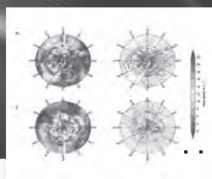
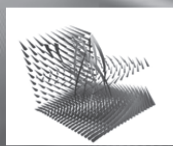
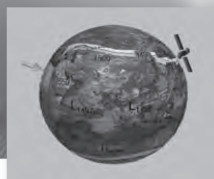
お問合せ:03-6868-3348 | submissions@editage.com



IDL

Discover What's In Your Data.

電磁圏・プラズマ研究分野でのスタンダードソフトウェア



IDLは、コロラド大学大気宇宙物理学研究所出身のDr. David Sternにより、より効率的にデータ処理から可視化までを、クロスプラットフォームOS上で実行出来るように研究者視点から開発されております。

現在、地球電磁気・地球惑星圏学会の皆様はIDLをTHEMIS衛星データ処理(TDAS)やSuperDARNデータ処理などで多くご利用されていると思います。最新のIDLでは対話形式だけでなく、開発環境やプログラミング自体も大幅に改良され、表示やフォントも綺麗で使い易くなっております。【最新版IDL無償評価版お問合せください】

HARRIS
TECHNOLOGY TO CONNECT,
INFORM AND PROTECT™

Exelis VIS 株式会社

■本社 / 東京オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-3 中山ビル3F
TEL: 03-6801-6147 / FAX: 03-6801-6148

■大阪オフィス

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-1-23 コウダイ肥後橋ビル5F
TEL: 06-6441-0019 / FAX: 06-6441-0020

URL > <http://www.exelisvis.co.jp/> MAIL > sales_jp@exelisvis.co.jp

Springer eBook 地球科学・天文学関連コンテンツ

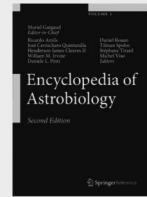
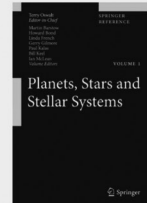
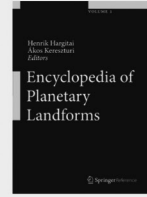
研究にも、教育にも最適なイーブック・コレクション

- 分野別、出版年別にパッケージ化した買い切り商品
- 広範な領域を網羅
- 利用価値の高いレファレンスや、ブックシリーズ、テキスト、モノグラフを含む幅広いコレクション
- 一冊まるごと、章ごとでもダウンロード可能
- 同時アクセス無制限、プリントアウト可能で教材にも最適。学生の教材費を軽減。
- 時、場所、デバイスを選ばず利用でき、移動の多い多忙な研究者に最適

分野	累計出版点数	2017年予定出版点数
地球科学・環境科学	5,700点	390点
物理学・天文学	10,000点	430点

ご所属の機関で使えるeBookをご存じですか？
利用可能コンテンツ、タイトルリスト、お見積りなどご希望の方はお問合せください。

シュプリンガー・ネイチャー インスティテューショナル・マーケティング
•Tel: 03-4533-8091 •Fax: 03-4533-8081 •Email: jpmarket@springernature.com



springer.com

Part of **SPRINGER NATURE**



学術論文の翻訳なら、翻訳ユレイタスへ

お客様満足度 **99.45%**

論文翻訳ユレイタスは、研究論文に特化した日英・英日翻訳サービスを提供します。論文専門の翻訳チームが、研究成果の世界への発信をサポートいたします。

ユレイタスの選ばれる理由

ボリューム割引
最大40%

1. **分野の専門家が翻訳**
1117の専門分野の中から、原稿の内容ともっとも合致する翻訳者を選出。

2. **修士・博士号を持つ翻訳者**
高い専門知識を有する、平均経験年数10年以上のスペシャリストが2000人以上在籍。

3. **回数無制限の翻訳修正**
何度でも訳文の手直しを行う修正保証制度「あんしん保証」。(日英翻訳)

4. **年中無休で営業**
土曜や日曜、祝日もご注文をいただくことが可能。



ご利用のたびにポイントがたまり、たまったポイントで無料サービスが受けられる
研究者のためのリワーズクラブがあります。

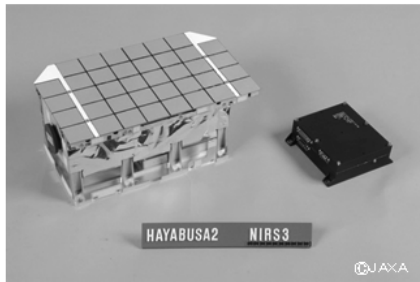
論文翻訳・学術翻訳ユレイタス: www.ulatus.jp

request@ulatus.com

電話受付: 月~金・日 10:00 - 20:00 土 12:30 - 21:30
03-5050-5373

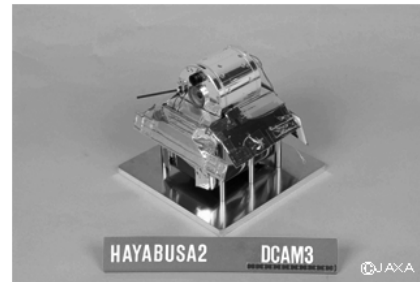
明星電気株式会社

小惑星探査機「はやぶさ2」搭載



近赤外分光計「NIRS3」

小惑星から反射した近赤外線を捉え、そこに含まれる物質を特定する観測機器



分離カメラ「DCAM3」

クレーター生成という重要な瞬間を記録する、理学観測用のデジタル高解像度カメラ

日本の宇宙開発草創期から参画し、現在までに
約3,000個もの観測機器を宇宙に送り出しています。
明星電気は、独自の技術、Sensing & Communication —
「計る技術」と「伝える技術」をコア技術に、国内外の宇宙開発に貢献しています。

IHI GROUP
Realize your dreams

宇宙防衛事業部 営業部 東京都江東区豊洲三丁目1番1号
TEL: 03-6204-8252 MAIL: aerospace@meisei.co.jp
www.meisei.co.jp 採用情報 随時更新中

MEISEI

賛助会員リスト

下記の企業は、本学会の賛助会員として、地球電磁気学および地球惑星圏科学の発展に貢献されています。

(有)テラテクニカ (2口)	http://www.tierra.co.jp/
三菱重工(株) 防衛・宇宙セグメント(2口)	http://www.mhi.co.jp/
Harris Geospatial株式会社	http://www.harrisgeospatial.co.jp/
日本電気(株) 宇宙防衛事業部	http://www.nec.co.jp/solution/space/
クローバテック(株)	http://www.clovertech.co.jp/
富士通(株)	http://jp.fujitsu.com/
(有)テラパブ	http://www.terrapub.co.jp/
明星電気(株) 宇宙防衛事業部	http://www.meisei.co.jp/
日鉄鉱コンサルタント(株)	http://www.nmconsults.co.jp/
英文校正エディテージ	http://www.editage.jp/
シュプリンガー・ジャパン(株)	http://www.springer.com/
論文翻訳ユレイタス	http://www.ulatus.jp/

地球電磁気・地球惑星圏学会(SGEPSS) 第146回総会・講演会プログラム

発行日：2019年10月16日発行

発行者：地球電磁気・地球惑星圏学会 <http://www.sgepss.org/>

事務局：〒650-0034 神戸市中央区京町83番地 三宮センチュリービル3F
地球電磁気・地球惑星圏学会事務局

TEL: 078-332-3703 FAX: 078-332-2506 E-mail: sgepss@pac.ne.jp